

# 木 詠

第 十 七 號

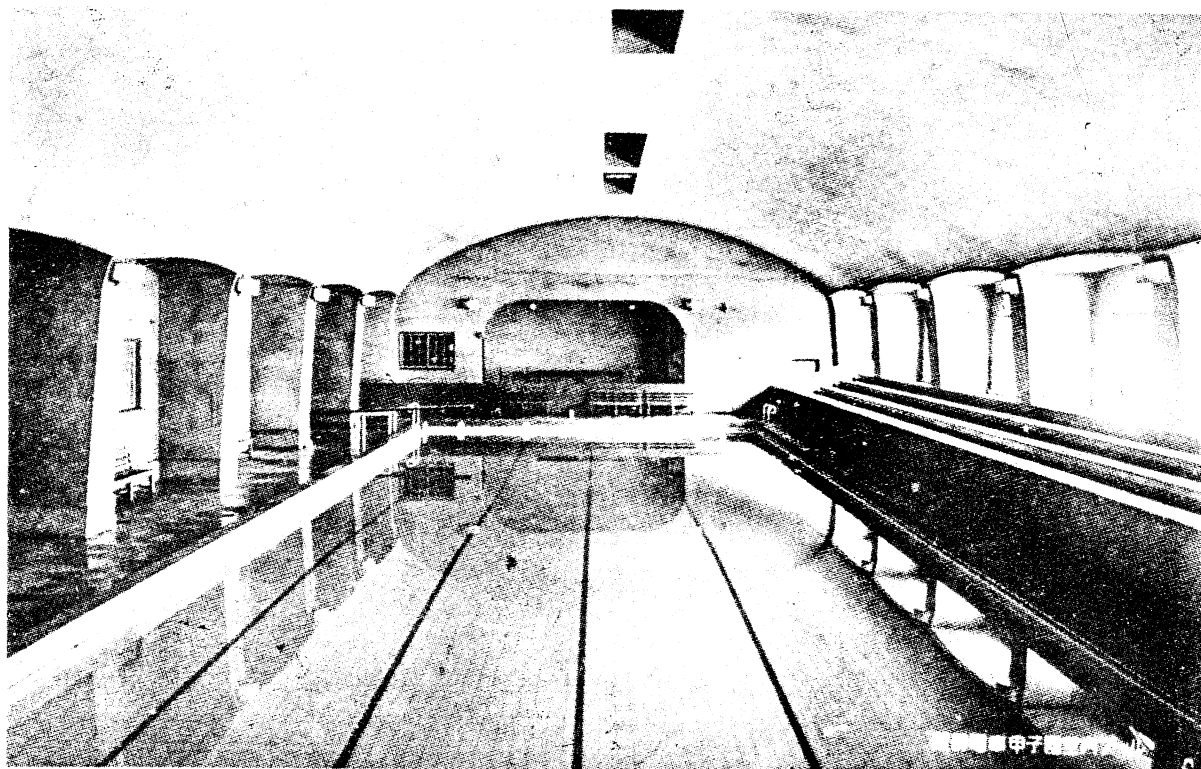
隔  
月  
發  
行

昭  
和  
八  
年  
五  
月  
發  
行



# 東洋一の甲子園室内プール

を御利用下さい



水泳日本の輝しい躍進、世界一の水泳王國日本、霸權を永遠に我等の手にあらしめよ!!  
それには凡ての人が常に水に親まなければならない。この切實なる要求のために生れたのが甲子園室内プールである。

このプールは重油専焼ボイラーに依る保温、壓力濾過器に依る循環淨化装置、鹽素滅菌器による消毒装置を完備し、名實共に東洋一、水溫氣溫共に25度以上常に夏の如し。一般ファンも選手諸君もこのスポーツ殿堂に依つて、體力を養ひ、將來の發展を期されよ!!

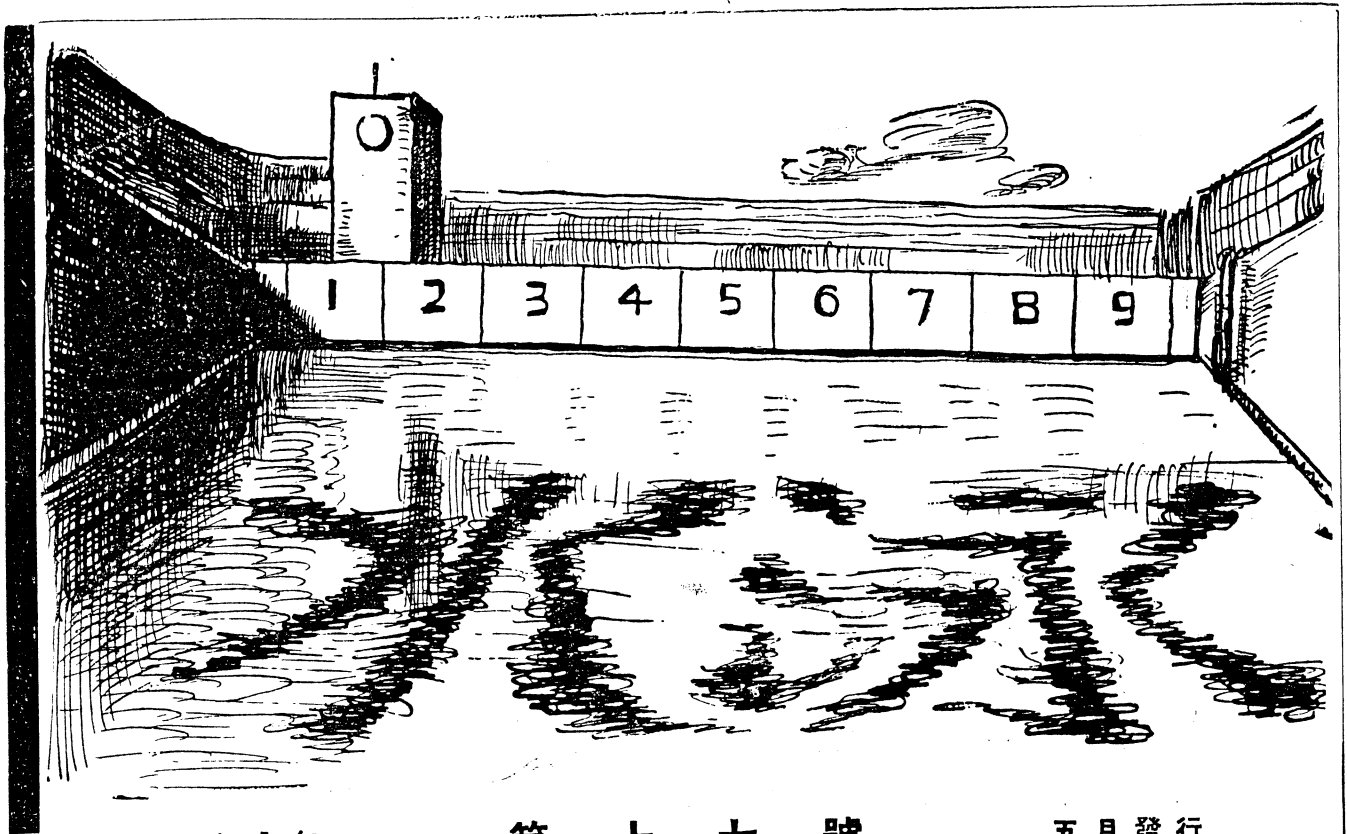
## 會 費

正會員	入會金 10圓、會費三ヶ月分 3圓前納
準會員	會費一ヶ月分 1圓前納
臨時會員	入場料一時間 15錢

## プール使用時間

正會員	午後五時より午後九時
準會員	午後五時より午後七時
臨時會員	男 (5月1日—10月31日)午後1時半より5時半 (11月1日—4月30日)午後2時より5時 女 (5月1日—10月31日)午前10時より午後1時 (11月1日—4月30日)午前11時より午後1時

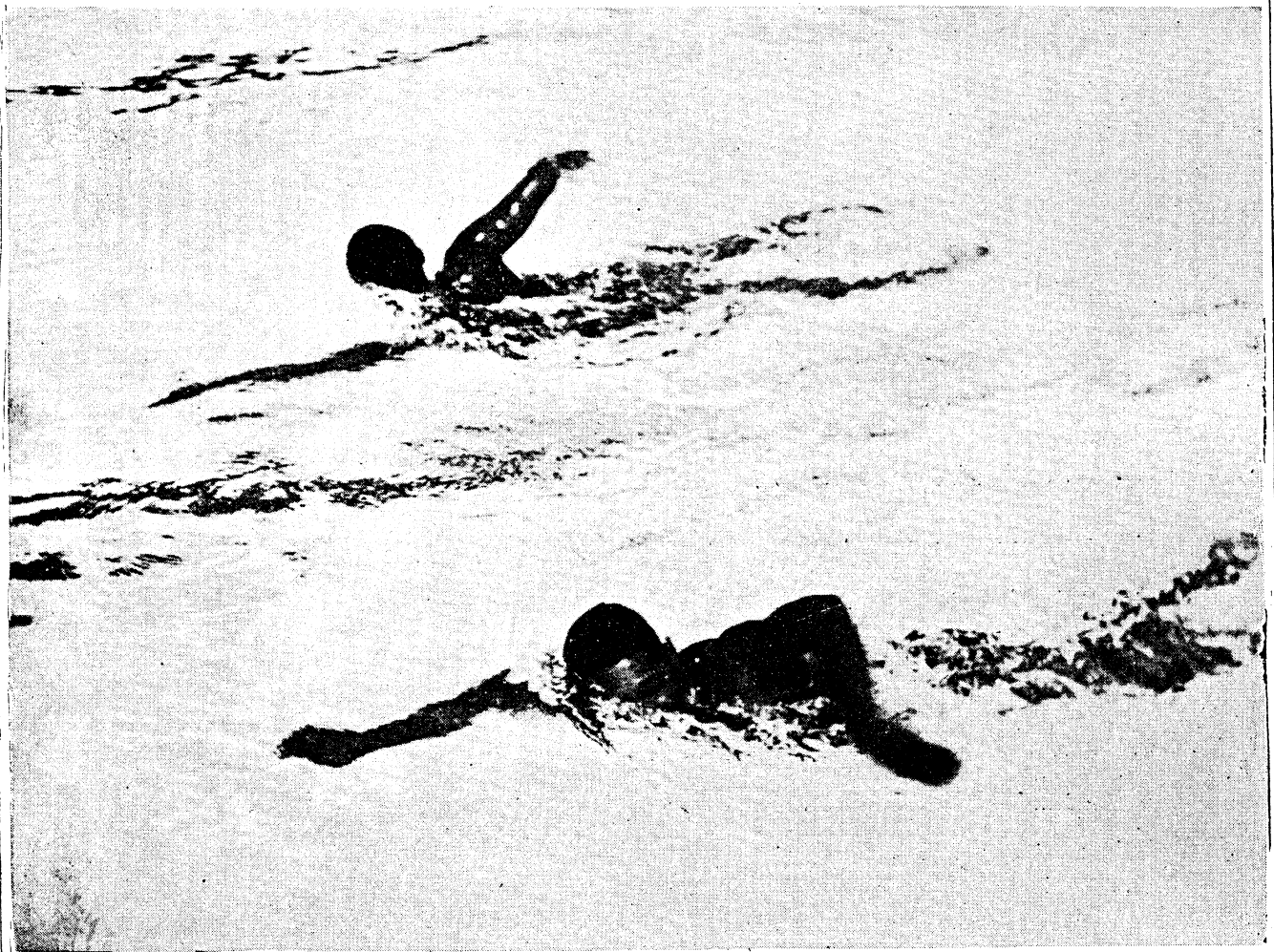
阪 神 電 氣 鐵 道 株 式 會 社



昭和八年

第十七號

五月發行



Los Angeles オリンピック・プールに於ける北村久壽雄（上）牧野正蔵（下）兩選手の練習

## 目 次

水泳日本のピラミッド	川 口 又 男	( 3 )
オリンピック 漫 録 ブレザーを集める	松 澤 一 鶴	( 5 )
FINA 公認競泳世界記録表	日本水上競技聯盟	( 8 )
問題となつた日本水泳選手の酸素吸入に就いて	松 澤 一 鶴	( 10 )
断じてスポーツ精神に抵触せず	深 山 杲	( 12 )
甲子園室内プール拜観拜浴記	亭 勇 生	( 13 )
オリンピック對外影響	安 部 輝 太 郎	( 14 )
NRS公示事項		
昭和八年度日本選手権大會兼第十回極東大會第一次豫選會要項		( 16 )
第七回明治神宮體育大會、水上競技大會要項		( 17 )
オリンピック・ラップ・タイム(その三)		( 18 )
指 導 欄 競泳、飛込、水球	齋藤巍洋、柴田隆司、時任嚴	( 19 )
道を尋ねて 伊太利のバルバルチ氏		( 28 )
消 息 欄		( 29 )
正 誤 表		( 30 )
會 報		( 31 )
編 輯 後 記		( 32 )

(表紙及カットは日名子實三氏考案)

### 昭和八年度日本選手権大會兼第十回極東大會第一次豫選會

### 第七回明治神宮體育大會、水上競技大會の要項

は本號第十六、第十七頁に詳細掲載してありますから、御熟讀下さい。

## 御 わ び

四月に發行する筈であつた第十七號は甚だ遅延して、五月になりました。NSR編輯部内に旅行  
其の他の突然事項のために本號は特におそくなりました。どうぞ御許しの程を。



水 泳  
日本の

ピ ラ  
ミツド

川 口 又 男

### 一、緒言

日本スポーツ界の大革命を完成し、オリンピック史に光輝ある「水泳日本」の一章を記録し、國を擧げて凱旋の歡喜に酔ひ、榮譽の感涙に咽ばしめたる昨夏のオリンピックに於ける優勝は、吾が水上聯盟の秩序ある統制の下に、強固なる團結を結成し、不屈不撓の精進をなせる結果なるは自他相許す所である。さればこそ陸上聯盟及潛艇協會も、この指導原理に立脚して各々「八年計畫」、「オリンピック主義」を標榜し、世界征覇の一路に驀進しつつある。かくして吾が「オリンピック第一主義」は今や全スポーツ界の永遠の指導精神たらんとする光榮ある地位を占むるに至つた。

### 二、オリンピック第一主義第二段階の展開

吾國水泳界をして「世界水泳界の第一人者として世界の水泳を指導すべき重い地位に立つに至らしめた」(オリンピック優勝號、末弘會長「オリンピック代表を迎ふ」參照)此のオリンピック第一主義は、世界人の賞讃をほしむるに、その花を咲き誇つて、その第一段階を完全に終結し、「そうして來るべき四年後のオリンピック大會に於ては勿論、永く今後に向つて、此の水泳日本の世界的優勝を保持するのみならず、更に一層之を完全なものたらしむ」べき第二段階へと開進の戰備に精進しつつある。即ち水上聯盟は昨秋その新指導方針として、水泳の全國的普及運動を決定發表し、着々その計畫を實現しつつある。

### 三、田畑イズムの没落と普及運動の眞意義

私の敬愛する水上聯盟創成期の偉大なる勇士、オリンピック第一主義第一段階に於ける立役者田畑君は、本誌第十六號に於て「水泳普及運動の意義」と題し、全國普及運動は水泳日本の「今後四ヶ年間の指導方針」なりと強調し、次のオリンピックに備へる水上聯盟の指導計畫の最初にして最後なるものゝ如く述べ、而して、「世上で水泳普及運動を以て嘗て水上聯盟の掲げたオリンピック第一主義を抹殺するものと考へるならばそれは大なる誤りであり」「普及運動とオリンピックに優勝することゝは物の表裏にして共に不可離のものなり」とし、「水泳の普及なくしてはオリンピックに優勝することは不可能」なることを、過般のオリンピックの成績にその實例をとつて之を實證し、「普及運動はオリンピック第一主義の放棄でなくしてその第一前提である」とし、飽迄、オリンピック第一主義の永久性を力説し、最後に極めて簡単に「水上聯盟の普及運動が完成した時は即ち、あらゆる種目に於てオリンピックに優勝する時である」と結論してゐる。而してこの普及運動の完成を、若さと熱に燃ゆる聯盟の新役員に期待しつつ、今や、甘美なる新婚の悅樂と、オリンピック優勝の歡喜とのカクテルに酔つて、幸福なる夢路を辿つてゐる。

然しながら私はオリンピック第一段階に於て築き上げられたるピラミッドは「その頂上の最後の一つの石が世界水泳の水準線上に僅に現はれた」るものに過ぎず、而も、北米及歐洲各國が相競つて水泳日本の指導精神を採り、ニツポニーズストローク研究に勵み、「打倒日本」のスローガンの下に、その精進に餘念なき狀景を眺め、「世界水泳の水準線は今日以上刻々に上つて行く」ことに思を致せば、次の四年間を普及運動にのみ全力を擧げてゐて、果して、來るべきベルリンのオリンピックに於て、再び壓倒的勝利を獲得し得るかを疑はざるを得ない。田畑イズムは餘りにも華かなりし過去の勝利の遺産によつて、又餘りにもたやすく未來の成功を豫測し、而も自らは没落の道を生むものではなからうか。

過般のオリンピックに優勝する迄は、吾が水泳界はあらゆる苦難を忍び、幾多の危險を乗り越えて、ひたすら對外的戰鬥力の充實に必死の努力をなした。その爲に、普及運動による對内的發展充實を圖る餘裕をもたなかつたのである。けれども猶、幾度の國際試合による縦の向上は、田畑君も實證せる如く、普及作用なる横の發展を將來したのである。而も、その普及作用は、計畫的に行はれざりし故に、今日

に至り、新に、最も重要な指導方針として、普及運動を計画的に進展せしめねばならない不足を醸してゐたのである。私は茲に、これと反対の現象として、普及運動のみにては、決して對外征服力の優越的強化を十二分に期待することは出来ないと斷言する。この二作用の關係は面積一定なる矩形の二邊 A B のそれと同様である。

普及運動に専念すれば、國際的發展は遲滯し、對外的進出をのみ企圖すれば、國內的充實は不足する。より大なる面積を闘ひ獲る爲には二邊を共に大にせねばならない。

又、普及運動を水泳日本の「もつともつと大きなピラミッド」建設の基礎工事なりとすれば、その落成式の當日に「其の尖端を高く高く世界水準線上に聳えしめる」べく其の底面積は何程と規定し得るか。

私は水泳日本の「もつともつと大きなピラミッド」は、古いピラミッドの隣りに、全然別個のものを築造するのではなくして、嘗ては世界に優越したる強固なるピラミッドの正四角錐の各面が同時的に擴大することによつて造らるゝ、永久に他者の追従を許さざる高さともつと不斷に増大しつゝあるそれではなければならないと思ふ。

「それ故に、普及運動は國際的發展運動との結合に於て始めてオリンピック第一主義、第二段階の最も重要な役割を演ずるのである。

#### 四、F・I・N・A・のリーダーシップ

吾が水泳界は「オリンピックに優勝することによつて世界の水泳を指導すべき重い地位に立つに至つた」のである。この故にこの指導權を十分に世界に主張する義務がある。或は未解決のイタリーへのコーチ派遣の如き技術的指導方法も一策であらうが、私は水泳日本の世界指導の緊急なる方策は先ず速に F・I・N・A・のリーダーシップを掌握することにあると思ふ。過般羅府に開かれたる F・I・N・A・總會に於て吾が全權委員、田畑、安部兩君の奮闘によつて將に副會長の地位を獲得し得んとしたることを以てすれば F・I・N・A・の征服も亦困難ならざるを察知し得よう。

#### 五、極東オリンピックの實質的解消

來年マニラに行はるゝ極東オリンピック大會は水泳日本の大ピラミッド建設過程に於て如何なる存在價值ありや。スポーツを國際外交の一段とする論者は、この大會をして東洋平和に貢獻する所大なりとして其のレーゾンデートルを主張するかも知れない。スポーツによつて國際親善乃至國際平和を持來さんとするはスポーツの副産物ではあるがその本質

的な目標ではない。スポーツの眞價は「フアイト」にある。吾々は正しく勝つ爲に、スポーツを愛好する。この意味に於て來るべき極東オリンピックはそれ自體實質的解消をなせるものと云ひ得る。そして其處に僅に残されたるものは東洋に於ける水泳指導をなし、その向上を圖るよい機會である事である。而して、又、他のスポーツ分野との關係を考へる時は、大會不参加を唱へるも當を得たことではない。故に私はこの大會をしてより重大なる目的への一段として之を價值付け、その永續性を與へたい。その目的とは、即ち、次に提唱せんとする三大陸爭覇戰である。

#### 六、三大陸爭覇の提唱

以上、私はオリンピック第一主義第二段階は國內的充實をその一事の要件とし、國際的發展をその他半の要件とすること、従つて F・I・N・A・を通じて世界の水泳を指導する義務を有すること、及極東オリンピック其自體は實質的には何等存在價值なきことを述べた。これらの三條件を綜合し、その實現の方策として三大陸爭覇戰の實現を提唱せんとする。

今や世界は大陸ブロック主義の思潮が漸く風靡しようとしてゐる。この時に於て、私は大陸ブロック主義の實行は先ず水泳よりと呼びかける。水泳の國際聯盟 F・N・I・A は歐洲諸國がそのヘゲモニーを握つてゐる。實力に於て遙に優越する日本及北米合衆國はその勢力未だ餘り強大ではない。然し世界水泳界の大勢は今やこの二國が歐洲諸國に代らんとしてゐる。故にその第一段として F・I・N・A・に働きかけて、歐洲、東洋、北米の三大陸の鼎立的發展を圖る爲に、その支部を東洋及、北米に設置せしめたい。

而して三大陸爭覇はこの F・I・N・A・の支部の統制を通して結びつけられたる三大陸を單位として各オリンピックの中間、即ち東洋に於て極東オリンピックの開催せらるゝ年度に各ブロックの選手權獲得國に於て世界霸權の爭奪戰を行はんとする企圖である。幸ひ、毎年歐洲は全歐洲選手權大會あり、北米には合衆國選手權大會行はるゝ故、之を全北米大陸の選手權とし又庭球のテビスカップ戦にならつて濠洲其他は、その各各のブロックの選手權大會に出場するも自由とし、東洋は極東大會をしてその豫選會として、三大陸爭覇戰の豫選會を形成する。而して可及的費用を少額ならしむる爲、オリンピック種目以下とし、二名以下を一種目に出場せしめる。而して財政その問題は F・I・N・A・をして之を規定せしむ。この爭覇戰の具體的構成は若し幸に輿論の賛同を得たるならば其際更めて詳述することとする。

## ブレザーを集める

松澤 一鶴

オリンピック開會式と云つて終ふと、何の變哲も無くなつて終ふ様にさへ思はれる。頗る簡単な言葉だが、第十回オリンピックの開會に當つて、プログラムにはパレード・オブ・ネーションズ (Parade of Nations) と記してあつたが、あの多彩的な、そして力強い、各自が祖國を背景にして、嚴肅な感激の行進を云ひ表すのにパレード・オブ・ネーションズと云ふのは如何にも相應しいが、此を邦譯すると物足らなくなる。オリンピック開會式なんて通一邊のものではなし、國際行進、國民行進と云つて見てもどうも、苦しい感じがする。

まあ譯語の問題はどうでもよいとして、此の大會を飾る此の大打進が、各國選手の思ひ思ひのユニフォームに依つて文字通り多彩的であつたのは全く想像以上の美しさであつた。我々日本チームは恩賜のブレザーで参加して、より一層の喜びと誇りに感激したのであつた。

ブレザー・コート (Blazer Coat) とは何ですかと聞かれるが、どうも僕もよく知らないが、スポーツ用の色のついたコートと字引にあるからには、それ



日本(野田一雄君)

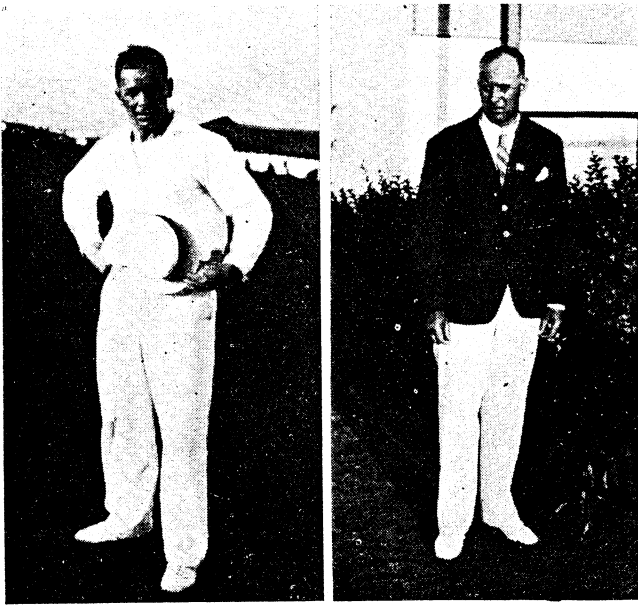


ドイツ

以上の意味はないのであらうが、斯様な國際競技に於て着用するブレザーは各國のナショナル・カラーを現すべきものとも云はれる。それ故に日本チームはコートの縁にも帽子にも乃至はネクタイにも赤白の二色を基調に用ひてあつた。さう思つて各國のブレザーを見るとそれぞれの國の意氣と心持をはつきり示して居つた。

オリンピックの第一日の大打進を終つてオリンピック村へ歸つて來たのはまだ午後五時には少し間があつた。けれども南加羅府の日脚はまだ高い。よその國の選手達は歸つたまゝの服装で食堂へ行きお茶などのんで居る。そこで氣がついて今日の機を逸してはと思つて、カメラに新しいフィルムバックを仕込んでオリンピック村を一巡りしてブレザーを集めたのであつた。

オリンピック村では芝生を隔てゝ日本村のお向ひが獨逸村であつた。丁度御茶から歸つて來る役員をつかまいて頼むと、もつと若いのがよいと云つて指名して呉れた。ヨットのクルーにでも合ひさうな海軍型の装。明るい紺色のダブルボタンの上衣とキャ



フィンランド

スエーデン



デンマーク

フランス

アメリカ



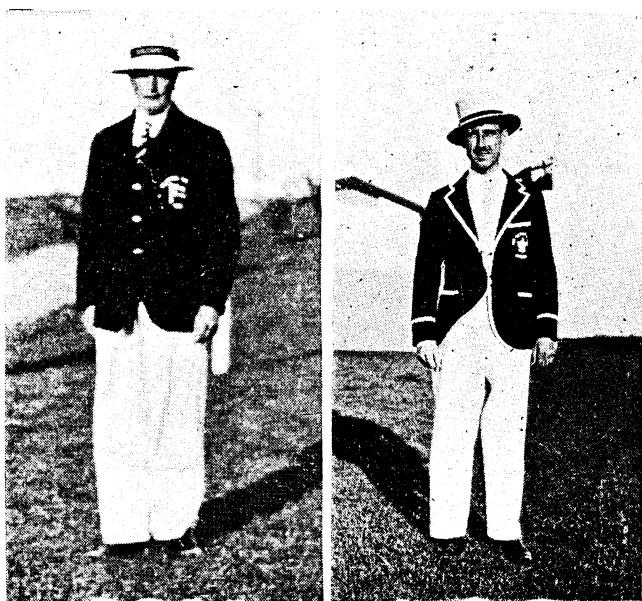
ツブ。異色ある姿であつた。如何にも獨逸らしい高い香とスマートさを感じられる。獨逸の裏にはフィンランドが居つた。此は又無造作な姿で、白パンツに白いシャツだけでネクタイさへない。白いシャツの上に国旗である青の十字をつけたカンカン帽姿は、陸上王國と云はれるだけに却つて一種の迫さへある様に感ぜられた。

獨逸の右隣りには瑞典、丁抹と小國ながら體操で有名な國が二つも並んで居つた。丁抹は焦茶色の上衣、瑞典は紺の通常の背廣服であつた。此二國を隔てゝその右隣りは佛蘭西であつた。一寸見ると地味な青色のコートであつたが、遠目には非常に明るく見える色で、どう云ふ意味であるかは知らぬが、国旗をつけずに雞のマークがついて居つた。何とはなしにフト子供の時に見た佛蘭西バレー會社の活動寫眞がいつも雞が鳴くタイトルで始まつて居つた事を思ひ出した。それにしても無聲映畫だつたから、日本の古川柳の手を用ふれば、雞が欠伸してる所かも知れん。近頃のメトロゴールドウキンのタイトルの獅子は吠えるがなと思つたらおかしくなり、フゝと笑つたら此の偉大な佛蘭西の彼氏、カンカン帽子をかぶり直した。氣の毒になつてオーライとか何とか云ひながらシャッターを切つたのである。

日本村から一番遠いはづれにあつたのは米國や英國であつた。米國村には誰も居なかつたが、丁度バスター・クラブ君が居て、すつかり着物を脱いで居つたがそこが舊知の難有さで快く着直して呉れ、ベレー帽子（此はユニフォームだつた）すぐ被つて呉れたのである。白パンツに毛糸のジャケツ。レッド・ホワイト・アンド・ブリューのナショナルカラーを表はし、ジャケツには赤青の筋が入つて居つた。米國の本部役員は此の上に上衣を着て居つたが、選手やチーム役員は全部同じ姿の揃であつた。日本チームが國際的體面を維持しやうとして上衣の格好を心配したり、僅か一圓か二圓の所で洋服屋と目に角立てゝ口論してパンツの生地をまけて貰つたりした事を考へて、芬蘭や米國の恰好を見せられると何だか足をすくはれた様な氣がする。その上米チームのパンツの地などは遙かに日本の物より悪かつた。

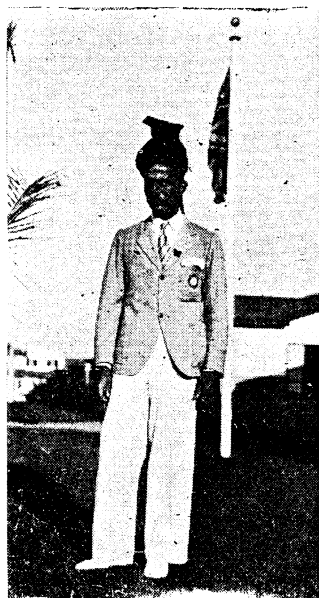
英國は村のひどく奥まつた所に住んで居た。ブレザーはごく地味な紺色。地味な事にかけては日本とよい勝負であつた。僅かハットとネクタイに、ユニオジャックの三色が現はされて居つただけ。ボヤツとしたあまり調子のよくない形に、英吉利らしい嬉しさを感じた。英吉利のまわりはその殖民地である諸國があつた。先づ加奈陀であるが、燃え立つ様な





イギリス

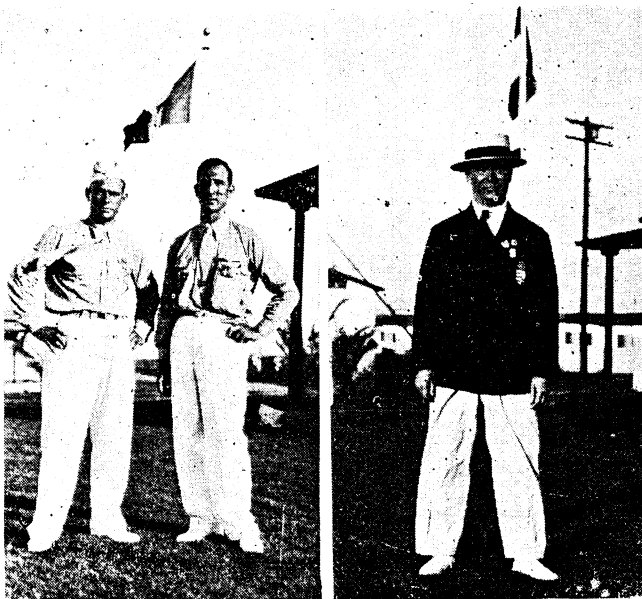
カナダ



インド

イタリア

ハンガリー



緋色に銀の笹縁と、例の楓の葉のマーク、寫眞はとれなかつたが、濠洲が同様に少し濃い緑色の地に金色の笹縁のついたブレザーをつけて居つた。此等は派手な方の代表で、最もブレザーらしいブレザーであつたらう。

英國の方から更にまわつて來ると入口の近くには小國が澤山一緒になつて居つたが、中で一番異色があつたのは印度であつた。白パンツに明るい淺青色のブレザー。眞つ黒な御顔とエキゾチックなタバーン。ホツケーの優勝を確信して居つたのだらうが、全體に力強いエキスプレッションであつた。確か極東大會の折も同様の服装であつたと思ふ。

更に村を廻つて來るとファツシヨの伊太利。芬蘭と同様にシャツ一枚の姿ではあるが、イタリアン・ブルーの強い派手な、而も絹のシャツ。おそらくは參加國隨一の伊達姿であつたらう。米紙にカラフル・イタリーと批評されたも宜なるかなである。而もバレードに於ては三列側面縦隊、距離間隔を一米づゝもつて行進するので、すぐ後から日本が四列の密集部隊で續いたのでは、人數が半分位の伊太利にいゝ加減押され氣味になつて終つた。

村を遂に一廻りして、日本村の下手。右隣りは洪牙利であつた。海老茶色の獨特なコートであつた、役員室から何とか大佐と云ふのが、態々上衣を引つけて出て來て、暮れ行く夕陽に對してまぶしいとも云はずカメラの前に立つてくれた。日本の隣りになつた洪牙利は彼自ら國名を云ふ時にはマジヤールと唱へ、自分の國は東洋系統であると云つて、日本語の配列が同じである等と、お互にタドタドしく英語で話し合つたりして、大いに懐しがつた。

たゞ残念なのは一層美しかつた女子の選手達の寫眞をとる事が出来なかつた事だ女子の選手達はオリンピック村には居ず、市中のチャップマン・パークホテルと云ふのに居たからだ。而し大體は白いスカートを用ひ、男子と同様のコートをきて居つたが、中には米國の様に男女子が全く違つた服装をして、女子は加奈陀の様なスカーレットの上衣を白の上につけて居つたものもある。然し女子の服装の話は僕が書くよりは、一層正しく詳しく女子選手の方から聞く事がよいと思ふ。

## 男子競泳世界記録表

## メートル制種目

	分秒	姓名	国籍	場所	水路	年月日
自由形 100米	57.4	J. Weissmuller ワイスミュラー	米 國	Miami (米)	25米	1929. 2.17
200	2:08.0	J. Weissmuller ワイスミュラー	米 國	Ami Arbor (米)	25碼	27. 4. 5
300	3:27.6	J. Taris タリス	佛 蘭 西	Reims (佛)	25米	31. 7.11
400	4:47.0	J. Taris タリス	佛 蘭 西	Paris (佛)	33 $\frac{1}{3}$ 米	31. 4.16
500	6:01.2	J. Taris タリス	佛 蘭 西	Reims (佛)	25米	32. 4.23
800	10:15.6	J. Taris タリス	佛 蘭 西	Cannes (佛)	50米	32. 6.21
1000	12:54.7	S. Makino 牧野正藏	日 本	Los Angeles (米)	50米	32. 8.13
1500	19:07.2	Arne Borg アルネ・ボレグ	瑞 典	Bologna (伊)	50米	27. 9. 2
背 泳 100	1:08.2	G. Kojac コージャック	米 國	Amsterdam (和)	50米	28. 8. 9
200	2:32.2	G. Kojac コージャック	米 國	New Haven (米)	25碼	30. 6.16
400	5:42.0	J. Irie 入江稔夫	日 本	和歌山 (日)	25米	28. 9.30
平 泳 100	1:13.6	U. Cartonnet カルトネ	佛 蘭 西	Paris (佛)	25米	32. 5.20
200	2:44.6	L. Spence レオナード・スペンス	米 國	Chicago (米)	25碼	31. 4. 2
400	5:50.2	E. Rademacher ラーデマツヘル	獨 逸	New Haven (米)	25碼	26. 3. 9
500	7:36.8	J. Reingoldt ラインゴルト	芬 蘭	Helsinki (芬)	25米	31. 4.26
リレー 800	8:58.4	宮崎、遊佐 田、横山	日 本	Los Angeles(米)	50米	32. 8. 9

## ヤード制種目

	分秒	姓名	国籍	場所	水路	年月日
自由形 100碼	51.0	J. Weissmuller ワイスミュラー	米 國	Ami Arbor (米)	25碼	1927. 4. 5
150	1:25.0	W. Laufer ラウファー	米 國	Chicago (米)	25碼	29. 2. 3
220	2:09.0	J. Weissmuller ワイスミュラー	米 國	Ami Arbor (米)	25碼	27. 4. 5
300	3:07.8	J. Weissmuller ワイスミュラー	米 國	Chicago (米)	25碼	27. 6.17
440	4:52.0	J. Weissmuller ワイスミュラー	米 國	Honolulu (米)	110碼	27. 8.25
500	5:31.4	Arne Borg アルネ・ボルグ	瑞 典	Detroit (米)	25碼	26. 1.30
880	10:20.4	C. Crabbe クラブ	米 國	Long Beach (米)	55碼	30. 7. 6
1000	11:55.4	Arne Borg アルネ・ボルグ	瑞 典	Sydney (濠)	55碼	29. 2.21
1哩	21:06.8	Arne Borg アルネ・ボルグ	瑞 典	Sydney (濠)	55碼	29. 1.21
背 泳 150	1:38.0	G. Kojac コージャック	米 國	Cambridge (米)	25碼	30. 3.29
平 泳 200	2:31.8	W. Spence ウォルター・スペンス	米 國	Brookln (米)	25碼	27. 3.19

1933

現在

# 女子競泳世界記録表

## メートル制種目

		分秒	姓名	国籍	場所	水路	年月日	
自由形	100米	1:06.6	H. Madison マヂソン	米 國	Boston (米)	25碼	1931. 4.20	
	200	2:34.6	H. Madison マヂソン	米 國	St. Augustine (米)	25碼	30. 3. 6	
	300	3:59.5	H. Madison マヂソン	米 國	Seattle (米)	25碼	30. 6. 7	
	400	5:28.5	H. Madison マヂソン	米 國	Los Angeles (米)	50米	32. 8.13	
	500	7:12.0	H. Madison マヂソン	米 國	Detroit (米)	25碼	31. 4.25	
	800	12:18.8	Y. Godard ゴダール	佛 蘭 西	Paris (佛)	50米	31. 7.23	
	1000	14:44.8	H. Madison マヂソン	米 國	New york (米)	55碼	31. 7.19	
	1500	23:17.2	H. Madison マヂソン	米 國	New york (米)	55碼	31. 7.15	
	背 泳	100	1:18.3	E. Holm ホルム	米 國	Los Angeles (米)	50米	32. 8. 9
		200	2:50.4	P. Harding ハーディング	英 國	Wallasey (英)	25碼	32. 9.19
400		6:16.8	M. Braun ブラウン	和 蘭	Paris (佛)	25米	28.12.23	
平 泳	100	1:26.0	E. Jacobsen ヤコブセン	丁 抹	Stockholm (瑞)	25碼	32. 5.11	
	200	3:03.4	E. Jacobsen ヤコブセン	丁 抹	Stockholm (瑞)	25碼	32. 5.11	
	400	6:38.4	J. Kastein カスティン	和 蘭	Ams erdam (和)	25米	32. 4. 2	
	500	8:23.8	C. Wolstenholm ウオルステンホルム	英 國	Manchester (英)	25碼	31. 9.23	
リレー	400	4:38.0	J. McKim, H. Johns E. Saville-Garrti H. Madison	米 國	Los Angeles (米)	50米	32. 8.12	

## ヤード制種目

		分秒	姓名	国籍	場所	水路	年月日
自由形	100碼	60.0	H. Madison マヂソン	米 國	Boston (米)	25碼	1931. 4.20
	150	1:40.4	H. Madison マヂソン	米 國	St. Augustine (米)	25碼	30. 3. 6
	220	2:34.8	H. Madison マヂソン	米 國	Seattle (米)	25碼	31. 4.15
	300	3:39.0	H. Madison マヂソン	米 國	Seattle (米)	25碼	30. 6.17
	440	5:31.0	H. Madison マヂソン	米 國	Seattle (米)	25碼	31. 2. 3
	500	6:16.4	H. Madison マヂソン	米 國	Miami (米)	25碼	30. 3.16
	880	11:41.2	H. Madison マヂソン	米 國	Long Beach (米)	55碼	30. 7. 6
	1000	13:23.6	H. Madison マヂソン	米 國	New york (米)	55碼	31. 7.17
	1哩	24:34.6	H. Madison マヂソン	米 國	Long Beach (米)	55碼	30. 7. 3
	背 泳	150	1:54.0	J. Cooper クーパー	英 國	Glasgow (英)	25碼
平 泳	200	2:50.4	E. Jacobsen ヤコブセン	丁 抹	Copenh (丁)	33 $\frac{1}{3}$ 米	32. 4.29

# 問題となつた「日本水泳選手の酸素吸入」に就いて

日本水上競技聯盟名譽主事 松 澤 一 鶴

我々は去る一月中旬の新聞電報に依り、米國インターカレッジの規則委員の一人であり、現にミシガン大學の水泳コーチである マット・マン氏 (Matt mann) がステートメントを發して日本のオリンピック水泳チームがとつた醫學的方法に對し惡聲を放つた趣を聞き非常に驚き、且事が頗る曲歪されて居るのを悲んだのである。

丁度自分自身はオリンピック水泳フィルムを持つて全國旅行中であつて、此のニュースを名古屋で受取つた、その後各地に於て此の事件に就て質問を受けたので、此がスポーツ關係者にとつて意外に大きなセンセーションをまき起して居る事を知つたが、旅行先では詳しい事も分らず質問者に對しても充分なる御答へをする事が出来なかつたのである。歸京後實際に新聞記事を見、又其の後に於て米國オリンピック・コーチであつたエール大學ロバート・キツバス氏よりの來簡に接し、此の事件に對する意見と、キツバス氏の好意ある態度とを御紹介したく筆をとつたのである。

新聞電報に依るマット・マン氏の意見の大意は「日本水泳選手の優勝は競技開始前に酸素吸入その他の方法を用ひた爲である。アマチュア選手が藥品その他刺戟物を用ふる事は禁止すべきであり、その反對運動を提唱する (一月十二日發聯合、讀賣、)」と云ふのである。更に彼は日本に惡意あるものゝ様に「日本チームはオリンピック委員等が反對す事を知つて、此を或るホテルで用ひしめた。日本の勝利が酸素のせいであるとは信じないが、道徳上反對する (一月十六日東日)」とも云つて居る。此に對しキツバス氏が「日本チームの訓練方法に非難する考は毛頭ない。日本水泳チームは立派なスポーツマンであつた。その訓練の方法がどうあらうとも此が米國に何の關係も無い」と日本チームに對する最上級の好意を發表した事が打電され前電に續いて新聞紙上に發表されて居るのである。そして此は米國でもセンセーションを起したと見え二月六日に紐育大學で酸素吸入の實驗が行はれ、吸入せる選手が却つて不結果を示した 二月九日東日、大毎、とも報道された。

實際オリンピックの際に我々水泳チームの者は、同行した深山博士の實驗に基き同博士の指導で公然と酸素の吸入も用ひたし、鈴木梅太郎博士の御好意で同博士の研究室より寄贈された強力オリザニンや

その他のビタミン B 製劑、葡萄糖を用ひた。(別項深山博士の記事参照) 此に就て一つの面白いエピソードを思ひ出す。

オリンピック水上競技も終りに近づいて確か背泳の決勝のあつた日だと思ふから、八月十二日の午後、別に隠す由も無いのであるから、オリンピック水泳競技場内の日本の控室で出場する選手達に最後まで注意を與へ、酸素吸入をやつて居つた。便宜上プール前のあるアパーメントの一室を前から借りてこゝでも休養大いに勉めたが、プールの控室でも盛んにやつた。此の以前に既に米國コーチ達の注目を惹いて、深山氏自身からも彼等に日本チームのとつて合理的方法を説明してあつた筈だ。その控室で野田君等が一生懸命に吸入の世話して居ると、プール警戒に當つて居つたサーヴィス・ボーイの一人が恐しい眼の色をしてやつて來て早口に僕に何かと話しかける、事情複雑して居る事を述べるらしくどうも何を云つてか分らない、初めの内は生返事をして居たが、しきりと説明して呉れるので漸く大要をのみこめたが、此が實に愉快なのである。「今プールの側で立つて居ると醫者が日本選手の身體検査をしやうと云つて居るが大丈夫か。俺は日本選手が好きだから其を急いで知らせに來たのだ。」と云ふ嬉しい話「何も心配する事はないからいつ検査されても平氣だ」と漸くに納得させたが、遂に身體検査の事も無くて済んだ。今にして思へば既に其頃から反對論者が居つたものか。又其の頃から酸素吸入に就いて相當一生懸命に説明しなければその何たるかを解し得なかつたコーチが可成り居つたから、僕も深山博士も陰であきれて居つたのであつた。

そこで茲に酸素不可論の起つた源を尋ねるのに、第一に心に浮んで來るのは Doping (刺戟劑) に關する國際陸上競技聯盟の規約である。御参考までに全日本陸上競技聯盟に依る譯文を掲げやう。

刺戟劑使用——とは競技の成績を普通以上に向上せしむべく、平常用ざる刺戟物を使用する事なり。何人たりとも知りつゝ上述の如き手段をなし又補助する時は本規則の有効なる凡ての場所に入場を禁ぜらる。又若し競技者自身行へば本聯盟支配下の「アマチュア」競技に於ては一時又は夫れ以後は競技に出場を禁ぜらる。(昭和四年改訂國際陸上競技規則第十九條の一)

斷るまでもなく此は國際陸上競技聯盟の規約であつて、國際水泳聯盟のには何處を探しても見當らないし、又オリンピック規則に於ても全然無い文句である。故に第十回オリンピックに於て水泳選手が假令刺戟劑を用ひても規約違反ともなるまいし、まして酸素にしるビタミンBにしても、刺戟劑とは云ひ難い事は別項深山博士の記事に明らかである。此をオリンピック陸上競技の圓盤に優勝したアンダーソンが競技中にウオツカを用ひた噂とか、米國の馬術の選手が馬にカフェインを注射した疑とかに比較すれば、刺戟劑と云ふものゝ範圍も自ら明かになるであらうと思ふ。そして水泳に於てもかゝる刺戟劑禁止の思想をマン氏に抱かしめた理由は米國のA. A. U. の規約が全く國際陸上競技聯盟の翻案であつて、此等と水泳規約が併記されて居つたからであらう。そして米國の規約は何でも世界が使つて居ると考へる所謂米國の世界一病的思想の持主であつたら、必然的にかう云ふ考へを持つに至るであらうし、若し不幸にしてマン氏が酸素吸入の事すら分らない様な連中の一人であつたらその誤解は一層激しい事であつたらう。(Athletic Rules of A. A. U., Track and Field Events, Rule XVII)

僕は茲で一言して置き度いが、競技者諸君がやたらに競技前になると藥品の力に頼らうとする傾向があるが此は非常な心得違ひと云ふべきだ。レース前に平常用ひないものを呑んだり、塗つたりする事は大いなる氣休めと云へば其までだが、それさへ平常とは異つた心理状態に導きこそすれ、それに依つてのみ勝利のチャンスを見出さうとする事はあまりにも愚かしい事ではあるまいか。今度のオリンピック選手がそれでは何故かゝる方法を試みたかと云へば、大體に於て往路の船中以來自然的條件に恵まれ、練習も順調に然も規則正しく行はれ、日常生活も此に準じて實に自重に自重した爲に充分なる力を貯へる事が出来た。此が實に九分までの勝因で其の方針たるや極めて平凡である。レース前に當つて最後の一分を完成する爲に、一層の精神的緊張を維持し、選手の氣休めの爲にも特別な醫學的な藥物的な方法をさへ用ひた譯である。而も其方法も決してやみくもにいゝ加減にやつたのではなく、既に本誌の第六號及第九號に發表してある様に畏友深山博士の實驗的根據ある方法に依つた譯である。萬一の手落ちの無い準備の上に、更に最善の手段を盡すと云つた態度で用ひたのである。もつとも一部には大横田の「運な病氣などと云ふ、レースとして非常時的な手段をとらねばならぬ爲に藥物——と云ふより營養

劑を用ひた場合も含んで居るけれども、とにかくかゝるゝ特別の方法は全く最後の一分に對する用意としてなされたのである事に御注意願ひたい。此は決して深山博士の仕事を輕視するものではない。たゞスポーツマンとして、守るべきは常道であると云ふ事の御注意を促したに過ぎず、オリンピック水泳チームも決して此藥物的方法のみに頼つたと云ふ譯でない事を改めて表明したに過ぎない。

此處置が利いたか利かないかは輕々に斷ずる事の限りでないが、日本選手の戦前のコンディションの素晴らしさから考へ、最後の一分の爲の手段として考へるならば、利いたにしても大したものではなかつたとも云へる。然し自分としては自ら賛成して此の方法を採用した故でもあるが、日本選手の最後迄の精神的緊張の効果と相俟つて少なからざる利益があつたのでは無いかと信ずる。證據には全般的に希望はして居たものの、當時の状態としては豫期せざる目覺ましい成績が數多く出たからである。

此の問題の競技規約的、或は生理學的の可否は今後更に研究さるべきものであるとしても、マン氏の所謂道徳上怪しからぬと云ふ考は聞き棄てにならぬ。酸素吸入の問題にしても換言すれば、休養室の窓を開いて新鮮なる空氣を澤山吸つたと云ふ事と大した意味に變りが無い事なのである。若しかゝる手段すら特別の方法と云ふならば、米國の諸君の盛んにやつて居るマッサージの可否すら議論しなければならなくなるであらう。

今茲に此の問題をとり上げて議論する事さへ大人氣ない様に感ずる。然も米國の總てが我に反對して居る譯でも無い。ジュネーヴの國際聯盟に於ける日本の立場より遙かによい。米國インターカレッジで重きをなして居るエール大學のコーチ・キツバス氏が先づ我を支持して呉れる。日米對抗を機に實によい友人を得たる事を改めて喜ばざるを得ぬ。此の問題の發生した翌日の一月十六日付の手紙でキツバス氏から本聯盟外國關係委員安部輝太郎氏宛に送つて呉れた言葉を見れば、此の間の消息も分り、此の事件も大部分は解消したと考へて然るべきであらう。

「日本水泳選手に關し米紙に報道せる遺憾なる發表に付き一筆申上ぐべく候、全米學生運動競技聯盟(N. C. A. A.) のクリスマス總會に於て水泳規則委員はマン氏の該問題に關する質問に從ひ、運動生理學を研究すべき諸氏を任命仕り候。マン氏は該總會には缺席仕り居り候ひしも、我々水泳規則委員は(筆者註、主任ルー・キング氏、キツバス、ケネデー、エイラー及マン諸氏より成る)斯の如き質問は

有力なる生理學者の長期にわたる研究を要し、又新たな委員の任命を見たるは我が友人深山博士のなせるが如き業績に対する關心を我等に促がさんが爲なる事を明かに了解し居りたるものに御座候。然るに昨日マン氏が新年に發表せるステートメントを見るに及び小生等の驚愕實に御推察に餘るもの有之候ひき。小生一個人としては心より御詫び申上げ、且我が米水泳界に對し貴聯盟のオリンピックに於ける功蹟は我國民が全く尊敬賞讃すべきものなりと存ぜ

られ、今回の事の如きは實に遺憾極りなきを斷言するに憚らざるものに有之候、小生は既に屢々申上げた如くスポーツマンとして貴チームを尊敬し、且、かかる問題に關し御批評申上ぐるよりは我等が水泳界の爲に多大の研究と努力を積まれたる事に感謝せんとするものに御座候。

貴聯盟の各員によろしく御傳聲賜り度、一層の御發展と御成功を祈上候。」

## 斷じてスポーツ精神に牴觸せず

本聯盟理事 深山 泉

去一月中旬全國新聞紙上を始め世界中にニュースとして報道された米國ミシガン大學水泳軍監督マツト、マン氏のオリンピック日本水泳選手に對する暴言は未だ讀者諸君の耳目に新しい記憶であらう。彼曰く「日本水泳選手がオリンピックに勝つたのは競技前酸素吸入及び或種の刺戟劑を採つたからだ」と之は全く我水泳軍にケチをつけた云ひ方であつて、當時此問題に關して請はるゝまゝ方々へ御答へもし、又寄稿もしたので大方の諸賢は既に其の正鵠を御存じとは考へるが、此處に本誌編輯子の御依頼に依り改めて簡単に其の事情を釋明して置きたい。

一言にして云へば彼マン氏の非難は全く非科學的であつて、彼が斯様な誤解を抱いてゐる限り寧ろその無智に憐れれを感ずる程である。若し又彼が之を以て自己宣傳に利用しようとしたのならば見事な的外れであつて、此のニュースに依つて、我日本水泳選手が實力に於て如何に強かつたかを今更乍ら世界中に公表された結果となり、彼の得る處少なく、却て我の得る處大であつたと云ふ珍結果に終つてゐる。

餘談は偕て措き先づ酸素吸入が果して「害あり」やに就て述べよう。

酸素は人間が生命を保つ爲めには必要缺く可からざる物質である。然も運動等の際に於ては疲勞を可及的早く回復せしめる爲めに呼吸數は頓みに増加して酸素の攝取量を短時間に多量ならしめ様とする。之は人間の本能であつて、運動後殊更に必要なこの酸素を人工的に得たものに依つて供給するのに何の異存もない次第である。夫れ故に酸素を攝る事は何等害ある事ではなく、之を極端に禁止すれば死に至る。重病人が酸素吸入に依つて救れる事が多いのと同様に競技後生理的範圍内に於て半病人となつてゐる選手も亦之に依つて罹病を未然に防ぎ且つ連續の

レースに於て絶へず各自のベストコンディションに於て戦ひ得る次第である。

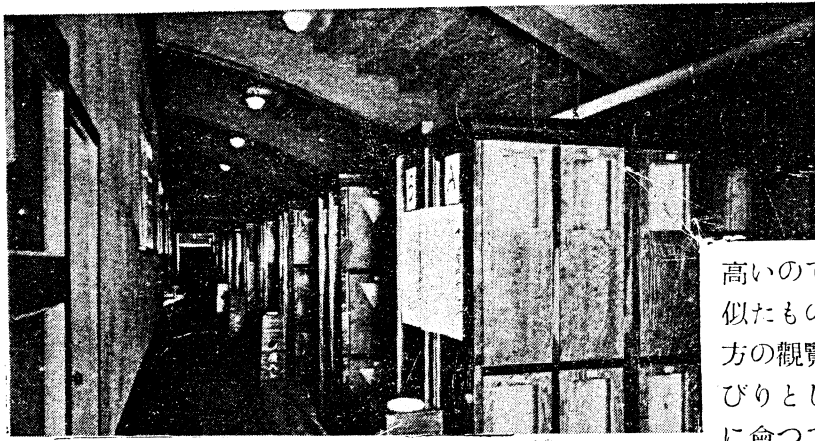
其有効なる理由を簡単に記せば運動に依つて筋肉中の糖元が分解して疲勞物質たる乳酸を發生するが、之は酸素の供給に依つて速やかに水と炭酸瓦斯に分解し、一部は糖元に還元されて疲勞を回復せしめるのである。夫故に疲勞時に充分なる酸素を供給する事は最も合理的な疲勞回復速進法と云はねばならぬ。酸素を競技前に與へる事は幾分とも餘剰の酸素を血液中に蓄へておく事と、ウォーミングアップ其他に依る軽い疲勞をも除去しておいてレース直前の呼吸を鎮める目的に他ならない。

之等の詳しい實驗や成績は本誌第九號（昭和六年發行）に既に掲載されてゐるから夫れを御参照願へれば幸甚である。次にマン氏の所謂「或種の刺戟劑」に就て述べる。今回日本水泳選手 攝つた藥劑はビタミン B 製劑及葡萄糖の二種で何れも榮養劑でこそあれ決して刺戟劑とは云ひ難く刺戟劑と名のつくものは微量だに用ひなかつたのである。

ビタミン B 製劑がスポーツに必要缺く可からざるものである事は既に本誌第五號（昭和六年）に詳述してあるし又其必要な理由は太田正隆博士に依つて本誌第六號に詳しく述べられてあるから今更喋々を要しないが念の爲めに説明して置く。

運動をすれば筋肉中に乳酸が發生する。この疲勞物質たる乳酸が酸化作用に依つて分解する際、中間物質代謝としてビタミン B が必要なのである。スポーツマン達は含水炭素（砂糖、菓子、米等）を殊更に攝るのは夫れだけ平時以上にエネルギーを要する故で之等がエネルギーとして消費された際には夫れだけ澤山の乳酸が發生する譯である。従つて此時

（以下 27 頁へ）



## 甲子園室内プール

拜観拜浴記

亭 勇 生

丸ビル八階の水上競技聯盟の事務所で、松澤主事を前にして

『甲子園のインドア・プールで泳がなくては、ニツボンの水泳を語る資格は無いさ』とホラを吹いたら、並み居る連中に嗤はれたが、眞實のことは飽くまで眞實なので、決して顔負けしないで、なほも喋り続けた。そしたら、松澤主事は、オリンピックの活動写真のフィルムを持って、諸國行脚に出かける前だつたので、『私も行つてプールにつかるよ』との返答をした。然し、遺憾ながら時間的には、松澤主事に先んじたことは勿論のこと、恐らくは、關東に住みます者のうちでは、第一番さんにつかつたものと思ふんでゴザんすから、甲子園インドア・プールがこの世の中から消へて無くならない間は、『關東の者では、最初に泳いだんでゴザんすといふ、事實としての誇りを、矢鱈に振り廻さうと思つてゐる。

新玉の歳たち返る初春を三日ばかり、通ひ馴れたる阪神間スポーツドム甲子園の一角に身を置けば、折柄水泳講習會が齋藤、石田、小林の三君を先生として開催されて居た。脱衣所の入口に、位置を占めてゐる受付の近くには食堂もあり、靴を脱ぐ前にその中を覗くと『飴湯』と書いたビラが目についた。歸りには飲んでやらうと心に決めて、ロッカーの前に立つ。

ブリキ張りの箱を抽出しにして、下駄入れとしたところ、なかなか頭腦が良く先づ鳥渡感心をする。水溫は二十度位かと、型の如く湯につかつてからプールの端に立てば、氣溫も水溫も共に二十四度位に覺えて、身體を動かさずに水中に立つてゐても寒くない。一米のスプリング・ボードの在る方を眺めると、女子短距離王の松澤嬢の他、七、八名の女流選手が旺んに水中をはね廻つてゐた。ダイビングの鎌倉嬢も、小林君のコーチで、幾回となく空中から身體を水面に突き刺す如く、飛込んでゐた。

長さ二十五米、幅十米のプールは、天井が相當に

高いので、インドア・プールに居るといふ壓迫感に似たものを殆んど覺えない。五百人を收容出来る二方の觀覽席は、プールの空間を大きくする爲、のんびりとした餘裕を與へる。後日、設計者の中尾保君に會つて、話を聞いたら、野球のスタンドの柱が、もう一米の距離だけ外側に建てられてあつたなら、更にもつて理想的なプールが出来たのだと言つて居たが、それでも野球スタンドに寄生してゐるプールとは、決して感じられない上等なものである。

女子の風呂場近くに、頭髮乾燥器が設備されてゐたのには、また些か感心を致し、細い點に至る工夫を讃へない譯にはいかなかつた。甲子園プールが自ら唱へてゐる、『……東洋一の且世界屈指の大室内プール……』の叫びを思ひ出した。世界中のプールに就ては全く知らないで、この説全體の正邪は判らないが、『東洋一』位には直ぐ賛成してもよいやうに思つた。

水槽の隣りで一段低い地下室のやうになつてゐるボイラー室に飛込んで、掛りの人から色々な説明を、判つたやうな顔付きをして聞いたが、兎に角大がゝりなことに、専ら重油を燃して水と室内の空氣をまたゝめることだけを知つた。

臨時會員となつて泳ぐのには、一時間十五錢、三十分増す毎に五錢と、比較的安い入場料の上に、水衝を貸して呉れるので手ブラで行つて水につかれるといふ簡易生活が出来るので、サービスの良いことに、若干、關西の地を羨んだのであつた。東京のYMCAのプールは、これまで日本の水上競技の向上發達の爲には、随分と役に立つた。甲子園の室内プールが、將來、幾多の練習や競技の爲に、關西選手に限らず全日本の爲に大きな資となることは明らかなことだ。

甲子園室内プールは、最新の良いものだから、みんな大事にして育て、また育てられたいものだと思つてゐる。

泳ぎ疲れて食堂に行き、『飴湯』を口にしたら甚だ美味。屋外はいつの間にか日が暮れてゐた。

(カッツは甲子園プールの更衣室)

# オリンピック對外影響

日本水上競技聯盟外國關係委員 安部 輝太郎

オリンピック報告書が出てからと思つて居る中に大分時日も経つたので、其後の外國關係報告を兼ねてとの御注文により漫文的に標題の様なことを書いてみる。

(1)先づオリンピック直前に外國では日本の水泳をどの程度に評價してゐたか？ 歐州方面では日本から記録其他を報せてやつた各國の主腦部では日本恐るべしの感を抱き、獨乙では其の機關誌に「極東既に戦備成れり」と題してオリンピック前年の日本の各記録を轉載して居つたが、中にはハンガリーが優勝するだらう等と云つた井の中の蛙も居つた。

米國では日米對抗以來大分弱氣にはなつたが、眞實にあきらめたのは最終豫選會の記録を受取つてからである。が一般の米人の中には勿論米國の優勝を信ずる者多く、シンシナチに於ける米國最終豫選の時、或る新聞記者は鶴田がアムステルダムで優勝したのを知らず又クラブの1500米20分20秒程度で問題なく勝ると信じて居り、又或る者は「日本でもクロールをやりますか？」等と訪ねて吾々を驚かした。

(2)こんな認識不足の處へ、あの優勝なので吾々の溜飲がどの位下つたか御察し願ひ度い。

勝つて見せると、さあ今度は大變で如何して日本は急に強くなつたのか？ 足が強いのは座る習慣からだらう、とか少年選手のザンギリ頭を見れば、あれで水排けが良いのだらうとか體が小さく年が若くて何故あんなに速いのか等々實にうるさいので終には「飛行機を見給へ小さい戦闘機は大きな爆撃機より速いだらう、エンジンの古い飛行機より新しい奴の方が速いぢやないか、」と片付けてやつたことが多かつた。

其後各國で發行された新聞、雜誌等は一齊に色々憶測を廻らしては日本の優勝を理由づけやうと苦心して居る。近着の米國インターカレッジ規則書中にも米國は今後 1936 年迄極力技術を研究し、一般の關心を喚起し、長いプールでオリンピック向きの訓練をしなくては到底又日本に敵はないと述べ、英國のスイミングタイムズ誌には英國コーチ、ハウクロフトが米國コーチ、キツファスの言を引用し、「日本の快勝は一に指導方法に歸すべきであると斷じ、タリス、バラニーの歐州式交互呼吸法の破綻を指摘

し、日本が 400 米を失つたのは一寸油斷したからで、クラブが勝つたのは僥幸だと言つて居る。其處らはいよとして、「日本が勝つたのは日本人が、白人に比して原始的な生活をして居るからで、吾々白人は食物にした處で、多少自らの齒で墓穴を掘つて居る觀がある。此上は吾々白人が少しく原始生活に歸つて強くなるか、日本人が西洋化して來るのを待たなくては、トテモ敵はない」といふに至つては、日本に「引かれ者の小歌」といふ諺のあるのを知らせてやり度くなるではないか。

(3)此他枚舉に暇がない程種々なことが書かれ論ぜられて居るので、中にはデマといふには餘りに痛快な誤謬も少くない。

鶴田君のことを滿洲人と稱し(してみるとオリンピックの頃から滿洲は日本だつたのかしら?)、又同君が上海で名譽の負傷をしたさうだと獨乙かれ見舞が來たり、先頃ミシガン大學コーチ、米國インターカレッジ規則委員の一人マン氏は日本がオリンピックに酸素其他刺戟劑を用ひたのは規則違犯である等と力みかへつたのは笑止であつた。後者の場合等一寸知らない者はハツと思ふらしく、現に日本スポーツ醫事界の大御所某博士も、新聞に「日本が用ひた藥品や處置は決して刺戟劑を用ひたものでない」と言明されたのは良いとしても、若し刺戟劑を用ひた場合には規則違犯であるかの如く書かれた。N.S.R.では此の問題は全然相手にせず居つたが、勿論水泳に關する限り國際聯盟、オリンピック大會共に刺戟劑等に關する規定は皆無なので、此の問題に關し、米國コーチ、キツファス氏より態々釋明の手紙を寄せられた程である。

(4)扱斯うして日本水泳の聲價が一段と世界に擴がると、日本選手を招聘し度いとか、コーチに來て欲しいとか、日本の水泳の秘訣を知らせてもらひ度いとか實に種々な申込に接する

其の中の多くは學業並に旅費等の何れかで謝絶の他なかつたし、又外國から招聘されるといふことは別に N.S.R. に取つて名譽でも何でもないので其の都度一々新聞に發表もしなかつた次第である。今其等を列記してみると。

コーチ招聘

伊太利より——之は目下先方と條件等打合せ中



で、2.3年間といふ期間で眞剣であるから話がまとまれば人選の上誰か適当な人が派遣されることにならう。

濠洲より——之は日本のコーチを招くべしとの輿論喚起中であるから、よろしく頼むと新聞切抜を送つて寄越した程度、

#### 選手招聘

米國より——之は新聞に發表せられた通り、學生選手を、米國インターカレヂ大會及び全米室内選手権等に今春招き度いと申入であつたが旅費と期日の關係から謝絶した。

比島より——之はオリンピック最中並に後、數回に亘つて熱心に吾が宮崎、小池、牧野等の遠征を望んで來、旅費等の條件も良かつたが、學業の關係から謝絶の他なかつた。

濠洲より——宮崎、北村、清川の三君に對する招待も前同様謝絶。

(5)次に、日本は水泳の爲めなら何でもやり通すとか、又以前日本に招かれた選手等から其の歓迎振りを聞き傳へ、是非日本でコーチでも何でもし度いから頼むといふ恐れ入つた蟲のよい連中も返事に忙殺される程澤山ある。

例へば、

米國——マーサースバーグ・アカデミーのミラー氏からキツフアス氏を通じての申込、ロサンゼルスA.C.のスエンゼン、コーチ、百米のシュウオーツ、ニューヨークA.C.のエクルス氏、其他ダイビングコーチ等無數

ハンガリー——ハンガリー前オリンピック水球コーチ、スパイゼガー氏よりの熱心丁寧な申込、又同國人で之はインチキな、米國に居るボニードといふ男にもうるさく付きまわられて弱つた。

埃太利——ヴェンナのオスカー、ウォーレル氏より水球コーチ申込

カナダ——トロントのウォーキング選手で運動具屋さんのジョージゴールドイング君から何でもするから行かせて呉れとの申込

等々千客萬來、一々斷るにも骨が折れる 中で米國飛込のダッチ・スミス、同エヂプトのシマイカ、

コーチ、サマリルの三君が昨秋來朝して鮮かな所を見せコーチをして行つたの丈が實現したわけで、彼等は其後比島、濠洲からエヂプト、伊太利等を経て世界飛込ランペン行脚中である。歸國すると米國A.A.U.からアマチュア資格を奪はれやしないかと思ふ。

(6)更に日本のニュースや指導法等を訪ねて、來て居る者に至つては無數であるが其中、F.I.N.A.の副會長、英國のファーン氏から辭を低くして日本の指導法、組織の教示を希望して來てゐるのは、自尊心の高き英國人にしては餘程のことであらう。

來朝中の眞崎參謀次長の舊師、米國のシャラー教授も一日 N.S.R. 新事務所を訪れ、米國へ原稿を送るのだからと種々説明を聞いた上で「日本の優勝は實に大和魂の然らしむる處だ」とまるで自分が勝つた様に力んでゐた。

(7)次にF.I.N.A. (國際水上競技聯盟)だが、認識不足と歐洲小國が結束し勝ちで、水泳の先進國(今では)日本に取つて不満なこと、デュネーヴと甚だ類似して居り、オリンピック最中にも屢々強硬な論戰を要し、一時は末弘會長に脱退の請訓をしようかと思つた位であつた。

米國邊りの専門家も同様 F.I.N.A.の保守的な、そして「聯盟的」な行動には不満を抱くものあり、思ひは同じ濠洲の水聯會長テイラー氏は日本に對し、濠洲の抱くアマチュア解釋(F.I.N.A.總會で否決されたもの)に同意を求め來り、オリンピック歸途の同氏の話では、場合によつてはF.I.N.A.を脱退し、日本とか米國とか、カナダとか、「水泳の解る國」丈けで別なリーグを造らうぢやないか等と力んで居つた。

デュネーヴの無力聯盟とは多少異り、假にも世界記録やオリンピック大會に對して實權が興へられてゐる以上、餘程重大な決意を要する理由が無い限り脱退は損である。何故ならば、デュネーヴは脱退して最惡の世界戦争をしても、勝てば良いが、水泳のF.I.N.A.を脱退するには先に敵手を確保してからでなくては勝ち度くても相手が無くなつて了ふ恐れがあるからだ。

であるから、當分は多少大國の襟度を示して、F.I.N.A.の啓蒙改革に努力せねばなるまいと覺悟して居る。此邊の詳細は後日發表のオリンピック報告書に譲つて置く。

一つには斯んな意味から日本の實力や制度を機會ある毎に各國の要路に知らせ、交換的に向ふの情報も取る仕事を續けて來たし、此の雑誌も前號からは英文解説を附して各國に配布することにした。

# N S R 公 示 事 項

## 昭和八年度 日本選手権大會兼第十回極東大會第一次豫選會要項

今年の選手権大會は例年よりも一層の内容の充實と、より多き参加とを期する爲に、インターガレヂ當局と交渉して、インターミドル競技會と時期を顛倒し選手権大會を早めて行ふ事となつた。尙今年度選手権大會を以て第十回極東大會(マニラ)の爲の第一次豫選とする事となつた。從來の習慣に依れば極東大會は五月中旬に行はれる筈であるから、來年の最終豫選會は恐らく三月末頃となるであらうし、その頃の選手諸君のコンディションは充分な事は望めないであらうから、先今夏の選手権大會に於て充分の實力を發揮せらるる様決心を促す次第である。

**日時** 昭和八年八月十一日より十三日迄。夜間競技として行ふ。  
**場所** 東京市明治神宮外苑水泳場。(競泳水路50米)。  
**種目** 昨年度と全く同様である。

### 競 泳 の 部

	男 子				女 子		
自由形	100	200	400	1500	100	200	400
背 泳	100	200			100		
平 泳	100	200			200		
リレー	800				400		

### 飛 込 の 部

男女子共、飛板飛込、及高飛込を行ふ。

尙プログラムの都合により初等種目を行ふかも知れぬが、其場合には追て發表する事とする。

規定飛はFINAの規約改正に伴ひ、本年度より變更するが、此に關しては追て發表の事。

### 水 球 の 部

男子のみ行ふ競技。プログラムに關しては、種目の順序を六月中旬頃發表の豫定。

**参加資格及制限** 従前の通りである。前年度選手権保持者はその種目の決勝に直接参加する事を得、その他は必らず地方豫選を通過せる者、一人二種目、リレーを除く。

### 地方豫選會に就て

昨年の代議員會に於て各加盟團體は必ず地方豫選を開催する義務を有するが、選手権大會の前少くも二週間前に行ひ、大會に参加せしむる場合には各加盟團體に於て、競技者の意嚮を確めた上で、本聯盟所定の申込用紙に依り申込む事。

今年より選手権大會と全國中等學校大會との期日が顛到する爲に、從來の様に中等學校大會を一つの豫選單位と見る事が不可能となつたから、各加盟團體に於ては中等學校と聯絡をとり、此の方面の競技者の出場を促す必要があるであらう。

今年度より地方豫選會を通じて本會に出場せしめ得る人員を次の如く定めた。

Bクラス加盟團體

各種目 三名

チーム種目一組

Aクラス加盟團體

各種目 六名

チーム種目二組

# 第七回明治神宮體育大會水上競技大會要項

昨年度代議員會の決議に従ひ、日本選手權大會とは別箇に行ふ事となつたが、今回は神宮大會も盛大に別箇に舉行して意義あらしめんが爲に、實施方法に大改革を加へた。最も有意義なる青年團競技及海軍競技を中心に一層盛んならん事を期すると共に一般種目をも行ひ殊に地方選手新人の参加を容易ならしめて、水泳普及運動の實現の一部としたいのである。此の意味に於て各加盟團體の熱烈なる協力を得ん事を切望する。

**日 時** 昭和八年九月卅日(土)十月一日(日)晝間の競技として行ふ。

**場 所** 東京明治神宮外苑水泳場(競泳水路50m)

## 青年團競技

より多き参加と一層の盛大を期して大日本聯合青年團と協議中であるが、大體前回の規定と大差なきも参加資格を一層明瞭にし、競技種目としては在來の百米、四百米自由形、百米背泳、二百米平泳、二百米リレーの外に三百米メドレー・リレーを加へて、各府縣の人員を一名増加する様である。決定の上は聯合青年團よりも通知する筈である。

## 海軍競技

同様に一層の隆盛を期し、海軍省教育局と目下協議中である。種目にも多少の變更を加へ、何等かの形式に於て、(例へばリレーの如き)鎮守府對抗競技の實現を見やうとして居る。

## 一 般 種 目

選手權對抗と重複を避け、從來の種目を廢して行ふ。

### (1) 郷土對抗リレー

種 目

男子 800mリレー、300mメドレー・リレー

女子 400mリレー、300mメドレー・リレー

参加資格 府縣單位のチーム、レースであつて、水泳的に見たる各競技者の郷土を代表せしめ各府縣一チームとして、代表チームは必ず各加盟團體の承認により決定す。

### (2) 飛込、水球

競技委員會に諮り、東西對抗競技を行ふ。細項は追て發表す。

### (3) 記録を作る種目

實施すべき種目は、關係委員會に於て研究の後發表するも競技者の申込にも應じ、豫め競技者と約束して、日本記録、世界記録を得んが爲に男女子とも特別なる種目を行ふ。細目は追而發表する。

### (4) 新人競技

水泳普及と新人に道を拓く爲に、水泳的に見たるジュニア種目を計劃した。

種 目

男 子 100m 400m自由形 100m背泳

200m平泳 飛込 水球

女 子 50m 100m自由形 100m背泳

100m平泳 飛込

飛込及水球の細目は委員會にて決定する豫定。

参加資格 次の條項に適合せる者を除き参加を許す。

#### a 男 子

從來の日本選手權大會、全國學生聯盟競技大會第一部、全國中等學校東西對抗の決勝に出場したるもの、從來本聯盟發表のベスト・テンに加へられたるもの。

#### b 女 子

昨年オリンピック代表選手。

参加制限、一人二種目。

### (5) 泳法のエキジビション

本大會を期し、本聯盟の主唱せる標準泳法のデモンストレーションを行つて世に問はんとする尙水泳一般化の實現を期する爲に泳法のエキジビションをも行ふが、何れも絶対に本聯盟に於て實施する。

# オリンピック競泳ラフタイム(その三)

## 男子800米リレー

	日本チーム		米國チーム		洪牙利チーム
50m.		29:6		29:6	30.0
100		1:03.0		1:04.2	1:05.2
150	宮崎 康二	1:37.4	F.B oth	1:41.4	1:47.2
200		2:13.8		2:20.4	2:25.0
250		—		—	2:56.4
300		3:16.4		3:23.6	3:33.8
350	遊佐 正憲	3:52.4	G.Fissler	4:00.2	4:12.4
400		4:29.2		4:37.4	4:52.
450		4:58.2		—	—
500		5:31.4		5:40.6	5:59.4
550	豊田 久吉	6:07.4	Man. Kalili	6:17.2	—
600		6:43.2		6:56.0	7:15.4
650		7:14.2		—	—
700		7:48.6		7:56.4	8:17.0
750	横山 隆志	:24.2	Ma. Kalili	8:32.0	8:46
800		8:58.4		9:10.5	9:31.4

## 男子100米背泳

氏名	清川	ゼーア	キュペルス	河津	清川	入江	河津	ゼーア	キュペルス	カーバー
	(日)	(米)	(獨)	(日)	(日)	(日)	(日)	(米)	(獨)	(米)
組	豫一	豫二	準一	準一	決	決	決	決	決	決
着順	1	1	2	3	1	2	3	4	5	6
50 m.	32.2	32.4	32.4	33.8	31.8	32.6	32.6	—	—	32.8
100	1:08.9	1:09.9	1:09.8	1:10.2	1:08.6	1:09.3	1:10.0	1:10.9	1:11.3	1:12.8

## 男子200米平泳

氏名	鶴田	小池	小池	鶴田	ジータス	イルデフオンズ	鶴田	小池	イルデフオンズ	ジータス
	(日)	(日)	(日)	(日)	(獨)	比)	(日)	(日)	(比)	(獨)
組	豫一	豫二	準一	準一	準二	準二	決一	決	決	決
着順	1	1	1	2	1	2	1	2	3	4
50 m.	36.8	36.0	37.4	36.8	37.0	38.0	37.6	37.8	38.2	36.4
100	1:18.6	1:17.6	1:19.1	1:18.8	1:20.2	1:19.4	1:19.0	1:20.0	1:20.4	1:18.2
150	2:02.0	2:01.6	2:02.0	2:02.4	2:03.8	2:04.0	2:02.4	2:02.6	2:02.1	2:02.6
200	2:46.2	2:46.2	2:44.9	2:45.4	2:47.6	2:48.4	2:45.4	2:46.6	2:47.1	2:48.0



## 指 導 欄

## 競 泳・飛 込・水 球

### (1) シーズン始めの練習について

齋 藤 巍 洋

昨夏ロサンゼルスの大會で我が選手の示した競泳法は今や全世界の注視研究的となつてゐる。外國の水泳家にとつては日本の少年選手達が巨人程もある外人連を相手に正々堂々勝をしめたことは眞に奇偉に感じられたに違ひない。特異な日本式クロール或はドーピング等によつて奇蹟的にあんな成績が得られたのかと我が選手のロサンゼルスに於ける戦の跡がやかましく熱心に考究されてゐるがわれ等の泳法とても彼等が考へてゐる程の特種なものであらうか。

我が國にクロールが輸入された頃は古來の觀海流泳法がプレストである事もしらす大小河童連はいづれも新しきを好みクロールへクロールへ馳せ參じ後になつて東京YMCAの外人によつてプレスト泳法が全く觀海流である事を知つていづれも呆然としたといふおもしろい話も残つてゐるがその後十數年間外征に或は外國選手招聘等により泳法を研究して彼等の長所をとりこれを消化してオリンピック優勝第一主義に精進努力、邁進した結果遂に競泳法を完成したのであつた。勿論我には傳統的に水に親しむ素質を持つてゐたこと、天候が自然的に適してゐたこと、國民性ファイティングスピリットが優れてゐる事等々が絶好の機會を我等に與へたのだらう。

水上聯盟ではその霸權の持續と更に水球、ダイビング、女子競泳等一般に亘る完成を期し水上界に君臨すべき決心を持つて全國へ水上競技熱の普及發達を望むため着々準備を進めてゐる。

練習方法の一般については既に各選手には識られてゐる事であらうがシーズン初めに特に練習上注意すべき點を羅列して多少とも新進の輩出を希ふ次第である。

シーズンに入るに當り各選手は先づ夫々自己の目標とする競技會に對して練習スケジュールを作らなければならないのである。競技會當日に自分が最高能力を遺憾なく發揮して好記録を示すことが選手の競極の任務である。

然らば競技會當日をベストコンディションに導くにはどんな練習を續けて行くべきかは最も六ヶ敷い問題である。それは選手夫々の體力、素質、環境などの差異によつて練習法が皆異つて來るからである。故に眞に正しい有効なスケジュールはその個人についてチームに就いて相當研究しなければ作れるものでない。

我が水上聯盟の昨夏のオリンピックに對して取つたこの練習スケジュールは全體に置いて非常な成功であつた。即ちオリンピック前年度から合宿練習により選手の融和統制、素質の研究オーバーワークの警戒等を完全に行ふことが出來たからである。これに反し水泳王國米國のとつた方法は約半ヶ月程前に豫選を行つたのだからチームの統制練習スケジュール等まちまちで従つて實力を有しながらあんな惨めな負け方をしたのである。

それ程この練習スケジュールは容易に定められるべきものではない。

さればシーズン始めはどんな方法を取るべきか、準備期に於ける一日の練習について見れば主要練習の前後には必ずウォームアップ、クーリングダウンを行はなければならない。

ウォームアップとしては陸上準備運動を汗ばむ程行ひ筋肉、關節を柔軟に血行をよくするのである。この準備運動には筋肉を堅くする様な運動、柔道、劍道、キカイ體操などはなるべくさげなければなら

らない。又テニス等の片輪的な運動はいけない。昨年日本選手の採つたデンマーク體操の一部など、關節を圓滑に動かし腹筋等を強くする點から見て効果がある。その他棍棒繩飛びエキササイザー、バスケットボール、バレーボール等特に練習前に行ふと良い。

シーズンの始めは水温が15—18度位だから特にこの陸上準備運動を充分やつて置かなければならない。

陸上で運動が終ると練習に移るのであるがこれも各選手の體質素質によつてそれぞれ異なるもので一概に規定が出来ない。例へば神経質のものが脂肪質のものゝ様な練習は出来ない。練習方法には短距離から自己の種目に入る方法がある。即ち百米の選手は最初からダツシュ、二十五米、五十米百米へと伸ばして行くのであるが大體に於てシーズン始めは身體を水に慣らすため長距離を各選手とも先づ行ひ充分體力フォームの呼吸を會得してから各自の種目に入つて行く方がより體育的で合法的だと思はれる。泳ぎで最も大切な手脚の調子などは百回二百回と多く行ひ苦しんで見てはじめてその調子が體得出来るのである。

水に慣れる爲にはスケジュールの中に毎日少くとも一回は四百米八百米或る時は千米も泳ぎその間絶へずフォームに注意を拂ふ。若しコーチがあれば一々缺點を指導して貰ひコーチが居ない場合は選手相互間で矯正し合はなければならない。注意も受けず又レコードタイム等を氣にして頑張つたりなどすればフォームも未完成のまま固まらせて終ひいざシーズンに入つて伸びるべき時に調子が出なくて取り返しがつかなくなつて終ふことがあるから注意すべきである。

主要練習が終れば軽いクーリングダウンを行つて一日の練習を終るのであるが一日の練習時間は三、四十分以内で切り上げその間は緊張したものであつて欲しい。徒らに時間をダラダラ永くゐても時間を空費する丈で緊張味も缺け有害無益である注意すべきだ。日本選手がロサンゼルスで練習時間が一時間しか與へられなかつたがしかも廿餘名の選手が十二分の練習が得られた。

一日中の練習にウォームアップの軽い練習から強い練習がある如く一週間の練習スケジュールにも軽い練習日から強い練習日を作り毎日變化のある面白い練習スケジュールを作らなければならない。このシーズン始めに良いコーチを招き基本練習をつけて貰ふことも特に必要である。こうして身體を水に慣

らしながら徐々にスピードを加へ一ヶ月位から本練習に入つて行くのである。

フォームについて注意すべき點は原則としてクロール、平泳背泳とも腕のストロークが餘り浮きを取らないこと、脚のビーチング 打叩 キツク（平泳に於ける）は身體を浮かせ腕のストロークを容易にならしめると共に推進力を充分掌り得る様に工夫すれば良い。腕を有効に使ひ得るためには先づ體位を整へなければならない。この體位は頭を出来る丈上げ、胸を張り、腰を伸ばし脚先の方を水面深く沈める様にし、力強いビーチングによつて體を上方にぐんぐん押し上げて行く様にするのである。所が最初は腰は中々伸びない又ビーチングがうまく叩けないこれを強くする爲には毎日の練習中に必ずビーチングのみの練習を加へる事が必要である。この練習にはプールの側を持つてバタ足の練習を行ひ又手を伸して水面に行く方法があるが前者は手で身體を浮かせて行ふのだから餘り効果がない。現今各國選手は後者を使用してゐる。ロサンゼルスでのオリンピック前の練習で比島のイルデフオンゾ佛のタリス米のマチソン等はベースの練習よりもむしろ板を握つて連日四百米或は六百米もビーチングの練習に力を入れてゐたのが目についた。イルデフオンゾ、タリス等にしてビーチングの練習に加ふるにベースの練習を十分積んでゐたならばもつと強敵であつたであらう。

我が選手もビーチングの練習を行ふと共にベースの練習が充分であつたからあの様な思ふ存分なストロークと好記録が出たのである。バタ足で十分或は十五分プールの往復してゐるのは血氣旺んな若い選手には物足りないだらうがシーズン初めには特にこれを行つて置き何時でも自由にスピードに移り得る準備をして置かねばならない。

その他背泳 泳等も腕を頭上に伸ばしてバタ足、キツクの練習を行ふべきである。

かくしてビーチングによつて腰、上體が横にゆれなく真直ぐ進める様になれば腕のストロークに注意しながらフォームの練習に移るのである。最早や體形が整つてゐるから自由に手脚の調子が體得出来る、ストロークを全部推進力に使へる様に研究が出来るのである。クロールの搔手は搔き終る時には水を上方に押し様々に力を入れず腰の邊まで搔けば力を抜き肩の筋肉で抜き上げ前方に持つて行く。之が肘で抜ける様にしたら體型が崩れるからよくない。肩の力で腕を前方に持つて行くのだから手掌は下向となつてゐる。而して肩の筋肉は腕が水面上へ抜き切るまで上げそれ以上無理に上げてはよくない。首の横を

通つた掌は水面に向ひ下方に突込む様に入れ餘り浮きを取らないで眞直ぐ後方に力強く搔くのである。

呼吸法であるが呼吸は搔く毎に一回づつ呼吸するのであるが常に肺に空気を一杯満たして置く様にする。それが爲には水中に口がある時には除々に口ではき水面上に口が出た時には素早く口で空気を十分吸ふのである。その他スタート、ターニング等種々注意すべき點があるが次に一般に陥り易き缺點を矯正する方法を述べて見よう

スタートで充分身體の伸びない時にはバスケットボールのシュートの要領でその場跳躍を行ひ腕で身體を前方に引張り出す氣持を覚え、またランチ等を何回も行つてゐる間に不知不識の間に上達する。

スタートで浮出し工合の悪い時にはランチの練習により浮上る角度と浮上る際にスピードが出る迄練習を続ける。スタートは體量軽いものは餘り深くなく、體量のあるものは突込する際にウェイトがある爲に相當スピードがあるから急に浮き上つたのは水の抵抗により返つてスピードが止まつて終ふ。ターニングが蹴り出して後伸びないのも同様な方法を行ふ。

クロールで肘が落ちて水のキヤツチがよく出来ない時には頭を上げ胸を張り掌を外側に向ける様にすれば自然に肘は上つて手先から水に入る。時々頭を

ウンと上げて泳ぐ練習、スタートダツシュ等を度々行つて見るのである。

一方の搔手が効かない時には兩側で呼吸するか、呼吸しない反對の方にもより多く首を廻せば自然に直る。

眞直ぐ泳げないのは水の捕捉する場所が左右不平均である事、左右兩腕の搔方が不平等なること、兩搔手の掌の方向が一定してゐないこと、腰が安定してゐないこと、兩脚の力の平均してゐないこと、呼吸の仕方の悪いこと、スタートターニングの蹴出しの脚の踏切る力の不平均なこと等が原因してコースが曲るのであるがプールの側面或はコースロープにくつ附いて泳いだり、水の澄んだプールでコースラインを見つめて泳ぎ自分よりスピードある人に全力をあけてついて泳いだりコーチ或は友人等に一つ宛缺點を注意して貫つてこれを直して行く練習を熱心にやれば良い。

以上述べて來たものはシーズン初めに當り注意すべき點の一部に過ぎないが只筆者の希ふ所は常に規則立つた生活きびきびした練習、スケジュールを立て、生々した氣分と溢るゝ意氣とを持つて練習を行ひ健全なるスキマーとして次の時代を背負つて立つ決心で練習に精進してゐるたゞき度くこの一文が少しでも役立てば幸甚である。(終り)

## (2)日本の飛込界の爲に残して行つた

### 來朝選手達の言葉

### 柴田隆二記

昭和七年度の日本選手権大會に、來朝優勝した飛込界の最高峰フアリツド・シマイカ、ハロルド・スミス兩選手及び監督ラルフ・サマリルの三氏を中心に、十一月十日の夜、飛込の座談會がYMに開かれた。座談會と言ふよりは、飛込のインター、カレツヂの選手達が數日間プールの端で實際のテクニツクに就いて色々指導を受けたそれ以外のもつと根本的な、飛込に對して彼等の持つ考へ方とか、初心者の方の指導法とか、日本の飛込の缺陷とか、言ふ事に就いて彼等の意見を叩くの會であつた。

借、てんでにペンを持つて來朝選手達の貴重な言葉を一言隻句も聞漏すまいと、その口もとを見つめて固唾をのんだ迄はよいが、それから先きは一寸つき合ひにくいフシもあるので、四方君に通譯を煩はし、彼等 忌憚のない意見を聞くことにしたのである。所が、聞く程に、語る程に、そんなに心配のいらないことが判つて來た。なぜならば飛込の話とな

ダブル・ダイブ後一回宙返り(十米)



ると實に熱心な彼等は、口角泡を飛ばし椅子から立

ち上り、上衣をかなぐりすて、直ちに實演に移らずには居れない彼等であるからである。聞く者も飛込に苦勞してゐるものの限り、目の前の實演は、へたなトーカーなんかよりどんなに呑み込み易いか知れない。

立派な格服をドツシリと腰掛けて前方をキリツト見つめたラルフの様子は、如何にも監督の貫祿を示してゐる。青い髻の剃りたての顔を拇指で撫でながらラルフは先づ斯う説く。

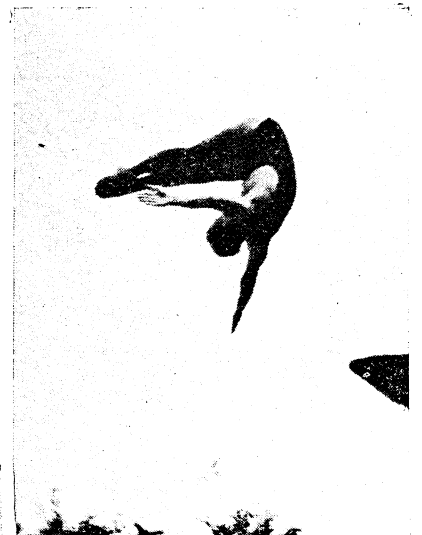
### 踏切りと日本選手の缺點

『此處にハンマーがあつたとする。そのハンマーで釘を打込まうとする場合、日本の選手諸君はどうハンマーを打ち下したら一番よく釘を打ち込むことが出来ると思うか？勿論それは釘に垂直に打ち下す事によつて一番能率を擧げ得るであらう。丁度それと同様に飛込の板の踏み方に於ても身體を垂直に踏みおろす事と板の反動に合せる事によつて、初めて飛込に重大な要素である「高さ」を取ることが出来るのである。

それなのに多く見受けた日本の選手諸君は、此のハンマーを眞直ぐに打ち込むことをしないで、横ナグリに踏切つてゐる様であるが、あれでは板を十分に踏み沈め飛込の高さを取ることは難かしいであらう。その點充

りは種目によつてはかなり體を倒して踏切るが、あれはアメリカに於ても特殊な例であつて實際感心出来ない。』と言つてゐる。

板の使ひ方に就いてラルフは



後一回宙返り(三米)スミス

『飛込の「高さ」を生むためには、身體を垂直に踏みおろす事と、もう一つ缺くべからざる事は板の反動に合せて踏切る事である。

板の反動に合せると言ふ事は即踏切る一步前のジャンプ(助走の最後のステップ)を板の震幅と合せて、必ず板がさがつてゐる時に踏おろす事である。

従つて板の震幅の異なる硬い板、軟い板の場合には、それぞれ板の硬軟の度合に合せて、硬い板の時は低く、軟い板の時は高くジャンプして板の反動と合せて踏切らねばな

らない。身體の輕重の場合も、身體の輕いことは板が硬いことになるし、重いことは板が軟いことになるからその反動の合せ方は板の硬軟の時と同様である。しかし支柱の調節によつて板の硬軟の調節が出来る板では勿論その必要はないわけである。

この板の震幅、反動の變、其の力を能く考へた、「岡飛び」は常に行つてゐなければならない。岡飛びの練習と言ふものは重大な使命を持つものである。』

### 助 走

『今話した最後のジャンプに至るまでの身體の運び方が助走であるのであるからこの運び方は最後のジャンプと踏切りが行ひ易い様に運ぶべきである。

即ち助走は、樂に滑らかにそのステップが板の反動に合ふやうにまた身體を常に直立して前に屈まぬやうに行はねばならぬ。その點から言つてライレー



上から、サマリル、島崎、柴田、シマイカ喜多、小林、スミス (神宮プール)

分に研究し改める必要がありはしないかと自分には思はれる』。

こゝまで話して来た時、スミスがその話しを取つて、踏切りの時は板の尖端を見るにも首を下げずに下目で見て身體はなるだけ眞直ぐに踏みおろすべきである。

ライレーの踏切



最後のジャンプ(スミス)



のあの前屈みの助走は嚴密な採點によれば、助走に於いてすでに一二點は減點さるべきものであると思ふ。』

スミスは席より立ち上つて、上衣をぬいだと思ふと、ネクタイを横つちよに緩めて、ライレーの助走の似眞と自分の助走とをやつて見せながら、

『この兩方の助走のどちらが無理がなく優美に見え且つ踏切りを正確にすることが出来るか？それは一と目で判るであらう。』

ライレーの前屈みで且つ最後のステップを長くした助走は彼獨特のもので、彼が初心者の時、その板の練習に箱を跳越へて板の尖端を踏みおろすやうな練習方法をやつたので、その走り方の癖が今の助走を形造つてゐるのである。ただ無條件にて眞似ると言ふ事は必ず避けねばならぬ。徹底的に批判し吟味して見て、進んだ國の善所、長所をどんどん取り入れることに依つて日本の飛込發達の近道は開かれるであらう。』と緒ら顔を上氣させて熱心にスミスは語つた。次にラルフは、

#### 手の使ひ方に就いて

『高さを取るためには、よく踏切らねばならぬことは前にも説いたが、板をよく踏みさけるには手を遊ばして置いてはならない。爪先きから板に踏みおろす瞬間手を腰の兩脇をスレスレに振りさけて通すことによつて一層よく板を踏みさけることが出来るのである。但し此の時と言へども肩は決してかたくしてはならない。飛び出した時に於ける手の振り上げの程度は、時、人によつて多少の相違はあるが大體の標準は、イザンダーか四十五度、モルベルグが三十五度位であり、バックスプリング其他のものは目の高さ位に振り上げるのが大體の標準である。』

飛出して手を振り上げすぎるといふことは肩を硬張らす恐れがある。

肩にひどく力が凝つて固くなりやすいと言ふことは日本の選手諸君によく見受ける傾向であるが、肩と胸をやはらかに保つてゐてこそ飛び出してから空中で技を掛けることも出来、入水で角度を調節することも出来るのである。足は必ず緩まない様に固く延しても上體は樂に柔かに保つべきである。』なほ、『飛出してからの空中に於ける動作、所謂「動作の一致」は個々の飛込みに就いてプールで述べた事であり、後に説くことにして、こゝではただ、總ての飛込が飛出してから板の高さまで落ちて来るまでに、その動作を行つてしまう心算でなければならぬことを述べて置く。しかしハーフ、ツイストの如く入水迄に徐々に動作を完了して行くやり方もある

が、大體の飛込みは板の高さで動作が終るつもりで、それから後は入水の用意をしながら落ちて行くべきである。』

#### 入水に就いて

『入水角度が正しい場合は身體の反りを一直線に直してプールの底まで突入することに依つて水もたまらぬ入水を見せることが出来るが入水角度が過ぎたり、足りなかつたりした場合はどうしたらよいか、先づ入水角度の過ぎた場合には、腰が水中に没すると同時に腰を曲げる(正しい入水角度まで足を起す)そして水中でモルベルグをやる位な氣持ちで入水するのである。次ぎに角度の足りない場合は決して無理に空中で直さうと試みてはならない。それは連続した運動の線を壊すことになるからである。その場合には肩が水面に没すると同時に、肘を曲げて兩腋につけ、兩手を前方に堅く結んで、それに水の抵抗を受けることによつて足りない角度を補ふことが出来るのである。』

以上で大體來朝選手達の飛込の各部門に對する、意見を聞く事が出来たと思はれるので、質問の方面を轉じて、

#### 飛込に關して如何なる點を最も重要視するか

この問ひに對してラルフは暫く默考してゐるが、やがて

『根本的に一番重大なことは「やらう」と言ふ意志である、熱である。飛込の總べては是より始まるのである。部分的に擧げて見るならば

(1)踏切 (2)高さ (3)實行 (4)入水

の四點を擧げることが出来る。』

シマイカとスミスは、それに就いて説を異にすると言ひ出した。その四點にもう一つ「全體から見た優美さ」を入れて五點にすべきであると言ふのである。なほシマイカは

『日本の飛込は必ずや、近いうちに目覺ましい發達を遂げ世界に覇を稱へる様になるであらう。何故ならば、成程現在に於ては日本の飛込はアメリカのそれに比べて十年近くも後れたものではあるが、飛込の根本的に最も重大な要素である「やらう」と言ふ意氣がどの選手諸君にも溢れてゐる。』

自分もかつて飛込を志したばかりの時、自分の體はかなり飛込に對しては不適當であつた。足はガリマタでゲタを履いてゐたし、その上腕を折つてゐた。自分を熱心に教へてゐたコーチに向つて或る人が『君はどうしてあんな素質のないものに一生懸命コーチしてゐるのか、』とさへ言つた程であつた。

しかし自分には「やらう」と言ふ熱があつた。コー

チもそれを認めて一心に教へて呉れた。それによつてやつと今日を築き上げる事を得たのである。

日本の飛込選手諸君の熱心さは實に驚くべきものがある。不斷の努力と無駄のない研究とに依つてはじめて躍進的發達を見る事が出来るであらう。それに就いては室内プールに於ける冬期の練習と陸上練習機の練習は缺くべからざるものである』

#### 初心者に対する指導法

ラルフ『先づ最初に板を踏む「コツ」を會得させることが必要である、それに次いで「動作の一致」と言ふことを覚えさせねばならない。

板の使ひ方には

(1)助走 (2)ジャンプ(最後のステップ) (3)踏切の三つの重點があり殊に板の反動に合せる事を會得させる爲に岡飛びを行はすべきである。

「動作の一致」と言ふ事を體得する爲には次の四種の飛込を完全にマスターさせることが必要である。何故ならば、總ての飛込は此の四種が基礎になつてゐるものであるからである。

(1)前逆飛(Front Dive) (2)後逆飛(Back Dive)

(3)前蝦飛(Pike Dive) (4)後踏切前逆飛

(Back Spring)

此の四種の飛込を完全に體得する迄即ち少くとも最初の二三ヶ月間は他の飛込を試みさしてはならない。』

以上で來朝選手達の言葉を、ひと先づ割つて、個々の飛込の技術上の意見、設備に就いて、日本飛込界に對する彼等の希望等の點に就いては、また一括として後述にしたいと思ふ。

### (3) 水 球 の 研 究 (其の一) 時 任 嚴

#### (オリンピックを中心として)

#### 緒 言

華かなりし昭和七年の水泳界もそよ吸く秋風と共に靜かに幕をおろして休息の冬眠期に入いつた。赤々と燃る火影に手をかざしつつ、昨年の輝かしき成功を回顧し或ひは來るべきシーズンに對する希望に満ちた計劃をひそかに思ひめぐらすのは此の上なく楽しい。昨夏のオリンピックに於て完膚なきまでに打のめされた我が水球チームは初参加だつただけに收穫も又多かつたわけであつて従つてこの蟄居期間中に於ても沈思して得る所多いのみでなく、來るべきシーズンに對しても大いなる希望を持つ事が出來、又深い興味をもつて種々の計劃をたてる事が出来る。水球のオリンピック遠征は結果より見るならば残念ながら見學の域を脱する事が出來なかつたが、我々は研究して新知識を仕入れて來た點では敢て人後におちぬつもりである。その後、半年以上を經過して大體材料の整理も完了したので、これを自己の胸底にのみ隠しておいたのでは切角の派遣の主旨にも戻り且つ斯の如き事は寧ろ發表するのが我々の義務なりと思ふ故に敢へてこの悪文を草して見た。

最近の水球の精髄は去るオリンピックに於てハンガリー、ドイツの兩チームに依て示されたと思ふ。特にハンガリーのそれは我々の想像してゐた最高の標準に近いものだつた。故にこの研究に於ては自分はオリンピックに於て各チームの用ひた技術を回顧

し併て今後日本水球の進むべき目標についての私見を述べて見たいと思ふ。

#### 個人的攻防基礎技術

水球の技術はメンバー相互間のコンビネーションに重點を置かなければならぬ事は論を待たないが、然し個々メンバーの基礎技術のない所にはコンビネーションの施す術もないのであつて個人的基礎技術を緯とし團體的コンビネーションを経としてその間に混然たる融合があつてこそ始めて團體競技の眞の精華を發揮する事が出来るのである。故に團體的コンビネーションは後にゆずり、先ず個人的基礎技術に筆を染るならば出足を第一に擧げなければならぬ。これはヘッド・スピード(head speed)を持つ事であつてスタートの第一歩に於てスピードを持つ事である。水球競技に於ては十米以上の距離を眞直ぐに泳ぐ事は極めて稀であつてスピードの有無は三十米、五十米の長い距離でなく實はこの出足にあるのである。去るオリンピック遠征に於て我が日本チームは泳の速さに於ては他チームに卓越してゐたのはにかゝりならずセンター・ボールさへも取り得なかつたこの出足に鋭さがなかつた故であつて洪獨兩チームの選手は我々をスタートの第一歩に於て引放し、恰も泳そのものが速い如き感をいだかした。スタートの第一歩で引放されては長くて五六米泳ぐ内に、これを回復するのは至難である。アムステルダム

ムに於ては超人ワイスミューラーすらも全く爲す術を知らなかつたと聞いて不思議に思つたが偶然ではないのである。そしてハンガリーのバルタ選手はこの鋭き出足を習得するには長年月の選手生活から来る経験とゲームかそれに似た對人攻防練習による外方法はないと教へてくれた。出足は鋭き身體のフェントと急角度の方向轉換の併用によりその威力を倍加する事が出来る。

次にシュートである。シュートは erect shot, swing shot, flip shot, back shot, relay shot がある。erect shot は肩の上に腕をまけてボールを支へ普通のキャッチ・ボールの如き方法にて投ずるのであり、水の上にすれずれに這ふ強烈なものとループのついた上隅を狙ふものと二種ある。前者は圖の如く猛烈なスピードでサイドを抜くのであり後者はキーパーの前に出た時、反對側の上側隅を抜くのである。洪獨の選手



が同じモーションより機に應じてこの兩者を巧みに使ひ別けたのには我々は手の出しようもなかつた。必要に應じて同じモーションよりこの緩急兩シュートをなし得た事は彼等の威力をより大ならしめたのであつて我等も今後大いに研究する必要がある。

swing shot は日本チームの愛用する所のものであるが彼等は餘り用ひなかつた。唯だゴールに極く近く居る前衛がタツクルされながら強引にゴールに放り込むために獨乙選手が可成屢々用ひてゐるがコンビネーションを生命とする水球には特別の場合を除き餘り推稱すべきでないと思ふ。ハンガリー選手は全然 swing shot は用ひず、バルタ選手の如きは日本チームの swing shot 亂用を最大の惡癖と(さへ)稱し自分は彼と會ふ毎に未だなほさぬかと強硬に注告されたものである。我々は大切な試合の前に斯くの如き重大な事を改革出来ぬ故、改めずに来たが世界最強なるハンガリー・チームが最惡のフォームとして排斥する swing shot を日本に於ては最も威力あるシュート・フォームとして愛用してゐるのは一

つの皮肉であり、今後に残された大いなる研究題目たるを失わない。バルタ選手は swing shot の缺點として次の事を擧げた。即ちモーションの大きな事、フェイントの困難な事、後よりタツクルされ易き事、キーパーにモーションを悟られ易い事である。自分も確かに日本チームは亂用し過ぎると思ふ。swing shot の長所は強球の出る事であり、内側にガードがマークしてゐる時には効力がある。然しハンガリー・チームのモットーはバスを速く交換してノー・マークを作り樂に狙つてシュートするのであり、前にガードが居る時は原則として強引なシュートはしないのであつて、それならば成程缺點多い swing shot の必要はないわけである。日本の水球も一日も早くこの域まで行かせたいものと思ふ。

flip shot は水上に浮いてゐる球を半ば掬ひながらゴールに弾き込むのであつて日本でも盛んに行われてゐるが洪獨米伯のいずれの選手も見事な球捌きを見せてゐた。

back shot も今後大いに研究されなければならぬものである。日本で行われる back shot は米國の二三の選手を除いては實戦では用ひないようだつた。ハンガリー・チームは練習にはスクリウと稱して盛んにやつてゐるがこれはフェントの後ゴールを見つゝするのであつて我々の back shot とは多少異つてゐる。ハンガリー・チームは自己支配のボールを極端に大切にし確實第一主義、バス第一主義でやつてゐるだけあつて決して無理なシュートはせず、まして後向きになつたまゝゴールも見ないで感でシュートするが如き事は絶対にしない。ハンガリー・チームはスクリウはやつたがゴールに脊を向けてする back shot は全然用ひなかつたと云つていゝ。練習中にやつてゐるのはハンドリング熟達のためであらう。獨乙チームの行ふ back shot は一寸變つてゐる。ゴールに脊を向けたまゝ空中でボールを受け取り、そのまゝ水に落さずに back shot でゴールへたゞき込むのであつて泳ぎながら止らずに、これをやられたのには全く閉口した。この場合空中で受けたボールを普通の前からまわして swing shot 或ひは erect shot にするのはより手易いのであるから左右兩方よりのシュートを適當に混用するならばガードするに甚だ困難を感じるのである。一口に back shot と云つても空中で受けてそのまゝするものあり、一旦水に落してからするものあり、或ひは腕をまけてするものあり、swing shot 式に腕を眞直にしたまゝ掬ながら放り込むものあり、ゴールに脊を向けたまゝ感のみで放るものあり、又ハンガリー式にゴールを

見つゝするものあり、その何れもがそれぞれ特徴を有するのであつて・どれが最良と一概に決める事も困難であり、従つて又それだけ研究し甲斐もあると云ふ事になる。勿論自己の得意をつくつておく事は必要であるが二三のものに決めてしまつては技術にバリエイティがない事になつて優秀な技術も守るに易しく、又近い將來に行つまる結果となるから大成せんがためにはその何れをも一應は修得しておく必要があると思ふ。

relay shot も又必要にして有効なものであつて頭の上に来るパスを手先にてゴールへ叩き込むのである。完全な relay shot の前にはキーパーは用をなさない。又密着してマークしてゐるガードに取つても上に非常な注意を集中しなければならぬ故に他の技術に對する防備が自然に粗になる。relay shot はよし失敗に終つてもこの點で甚だ有効であつて、ガードを非常に恐怖せしめ、その後は他の技術が甚だ仕易くなるであろう。然もこれはゴールに近ければ近い程甚だ成功率が高いのである。洪獨兩チームの relay shot は流石に優れてゐた。我々もこれを練習はしてゐたが始めから手を舉げて待つてゐる傾向があつたため事前にその意志をガードに悟られる缺點があつたに反して彼等のは普通の姿勢で相手を安心せしめてゐて球が來れば突然これを叩きつけてスピードを付けその上自在に球道を變へてキーパーの注意を襲ふため特にその威力を發揮したのである。

最もパスがとつても良かつた。敵ながらも見取れる程見事な球が飛んで來た。フリー・スロ・は絶好の relay shot の機會なのである。それ故その上達は良き送球が先決問題なのかも知れない。

シュートはこれで大體一通り述べたわけだが、その練習方法としては最初は近くからコントロールに重きを置いて緩球を投げ除々に球速を加へ距離をのばしてスピードシュートの練習に移る事、この氣持はゲーム前のウォーミング・アップに特に必要である。

送球はノー・マークの時は要するに速いモーションで正確であれば良いが競合ひで球を奪つた後とマークされながら球を得た時が問題である。斯くの如き時は先ずボールを自己に好都合の所に弾じき、ボールと敵の間に敵に脊を向けて自分の體を置くようにし廻り込むかドリヴル氣味にボールを安全地帯に運んでから手をかける事、早まつては敵にタックルされ逆に取り返される事になる。空いてゐる手或ひは足でファウルにならぬ程度に敵のタックルを支へつゝボールを處理する事も必要である。敏速と正確

が送球の第一條件であつて成可くボールを水に落さず手から手に正確にパスして行く事、各個人のボールを所持する時間を出来るだけ短かくし、モーションを小さく素早くする事、そして途中でカットされざるループのある正確なボールを投ずる事が必要である。洪獨兩チームはこれを忠實に實行してゐた。

パスの練習方法には round pass と swimming round pass があり、人数は餘り多くない方がよく一組五六人が適當で始めは極く短い距離から除々にロングパスに延ばして行くのがいとバルタ選手が教へてくれた。swimming round pass は環をつくつてクロールで頭を上げて泳ぎつゝ止らないで手から手へのループ・パスをまわすので泳のスピードは左程速くなくてもいいが、ボールを受けつゝある時もスピードを變へない事が必要なのである。これまでの日本で行つてゐた swimming round pass はスピードが速すぎた故に長く續けられなかつたが、ゆつくと一度に五六分から十分位續けなければならないので、又頭の前の水にボールを落してゐた事と前のみを見て泳いでゐたのは間違ひであり常にボールから目を離さず頭を上げて泳がなければならないのである。

次にフェイントである。これは首尾よくノー・マーク・となつてキーパーと一騎打をする時シュートのモーションを途中でやめてキーパーが飛び上つた反動落ちたすきにゴールに球を放り込むので、この中止するまでのモーションがフェイントである。キーパーが上達するに従つて單純なるシュートではゴールを陥入れるのは益々困難となる故、フェイントも又重要な技術となる。

以上述べた外ボールを得てタックルされた時にボールを内側に弾き込むで敵の逆モーションを突きボールと共に敵の内側に入る事、頭を上げたスピードあるドリヴル、ドリヴル直後の素早き球の處理、ピボット、弾きパス等も攻撃技術として重要なものであり、ボールを保持した如く見せかけてドリヴルし相手に no ball tackle の犯則を犯さしめて free slow を取る方法もあり、或ひは sportsman-ship には戻るがオリムピック水球競技に於ては甚だ遺憾な事ながら明かに犯則であるけれども水中で見へない故に under water technique なるものが盛んに研究され、いと巧妙に行われてゐた。これに對して如何なる態度を取るべきかは相當に議論の餘地もあるが國際的に活躍せんがためには少くともこれに對する一應の理解とその防禦法は研究する必要があると思ふ。

防禦の基礎的技術は固きマークとタックルと叩球である。マークは相手に飽まで密着して追かけて行き敵のプレーを防禦するのである。ゴールに比較的遠い時と側方に寄つた時は敵の内側に密着するがよく敵がゴールに近づくに従つて除々にサイド或ひは外側に出で第一に敵にボールを持たせぬようにし、出来るだけのパスはカットし、少なくとも競合ひにしてしまふのである。ゴール前二三米の所で敵にボールを持たせては如何に固きマークも防禦し切れないであらう。そしてこの際内側に放り込まれたボールはキーパーと協力して処理するのである。

斯くの如くマークの方法は敵とゴールの距離、關係によつて異なるが原則としては内側にマークするのを第一とする方が無難であり又初心者練習には内側マークより始めるのが上達し易い。

扱てマークしてゐる敵がボールを持つた時は直ちにタックルするのであるが、その方法は相互の體勢によつて異なる故一概に云ふ事は出来ない。ボールを持つた手に行くのがいゝ場合があり、敵の體を猛烈に水中に突込むのがいゝ場合もある。原則としてはゴールより遠い敵には體に行くのがいゝ場合が多く、ゴールに近い時は體では無効の場合が多いから手か或ひは直接ボールに行くべきである。又パスを防禦するには體に行くより方法はなく少なくともこれによつてパスを不正確にする事が出来る。正確なパスせしめる事は既にガード側の負けである。

防禦側は止むを得ざる理由によりマークを粗にせざるを得ざる場合も出来る筈である。斯くしてノー・マークとなつた敵がボールを得てゴールを狙つた際タックルするために突進するのでは間に合わないのは理の當然であらう。ここに於て叩球の技術が必要となる。即ちシュートされたボールを途中で於て叩くのである。

詳しい事は團體防禦に關聯して述べるがこの叩球もバツク・マンとして缺くべからざる技術である事を付加しておく。

次にキーパーの防禦に移るならば、水球に於けるゴール・キーパーは陸上球技のそれと異つてシュートの位置に應じて前後左右に移動する能力が極めて少ない事を先ず念頭におかなければならぬ。原則としては如何なる位置よりのシュートに對してもゴールポストの中央五寸乃至一尺前方に位するのが適當であらう。斜横よりの強シュートのみに對しては確かに幾分その側に寄るのが防禦し易いが反對側の上隅をループ・シュートにて狙われ或ひは反對側にパスされた時に直ちに位置を變へる事が水球では困難

である故、斯くの如き場合もやはり中央に位置する必要がある。又ゴールを小さく見せるために出来るだけ體を水上に出し、總てのシュートを次の攻撃のためとチャージされて困らぬためにキャッチするよう心掛けるべきで止むを得ないものゝみを抑き出すのである。キーパーはフェイントにかゝらぬよう注意しなければならぬ。又シュートされる時、球を待つて處理する事なく寧ろ積極的に敵を誘つて、その裏をかくが如き精神力と技巧と餘裕とを必要とする。よきキーパーたるためには如何なる強球をも恐れざる度胸とゴールの隅にまで手のとゞく巨大なる身體と水から飛び出すための強きあふり足と如何なるシュートにも飛び付き得る良き目と機敏なる筋肉が要求される。そして停止前衝の攻撃力が增大するにつれてキーパーの敵前衛と競合ふ場合が多くなつて來る故、一應のバツク・マンとしての技術も修得しておく必要が生ずるのである。(續く)

(12頁より)

#### 酸素吸入問題

深山 梟

に相當量のビタミンBを攝らないと乳酸が除去されない、運動後身體のだるい感じが續くのはこのビタミンBの缺乏症であつて、之は脚氣に甚だ似た症狀を示す。運動家が練習中に野菜や果物を欲しがるのは夫れ等の内に含まれてゐるビタミンBを要求する本能であつて、喉が乾いて水を欲するのと同意である。斯かる場合に人工的に得た製劑に依つて之を供給する事は科學の進歩に感謝こそすべきで決して禁すべきではない。

葡萄糖を與へた理由は砂糖類の中で經濟的で且胃に於ける吸収の最も早い物質、即ち最も早く精力として役立つ物質である故に之を用ひたのである。運動に有効なる理由を詳述してゐると限られた紙數を超加するから省略するが刺戟劑でない事は御諒承の事であらう。

以上は大體オリンピックに水泳選手が攝取した化學的物質の全部であるが、御判讀の通り、マン氏の非難が如何に的外れの認識不足であるかが御解りの事と思ふ。

希くはスポーツ醫學の研究が今後共齎らすであらふスポーツマンの保健強壯法を可及的採用されて無茶な頑張りに依つて罹病や斃死などの馬鹿を見ないやう、今後益々科學的に安全に且正しきスポーツに精進あらんことを。

# 道を尋ねて

伊太利のバルバッチ氏

東京の花の便りと共に、水上聯盟へも珍しい便が舞い込んだ。四月八日の夕方、東京丸ビルの聯盟事務所に突然 113 KG の巨漢が、大いさ之に適ふ所の美しい夫人と共に現れた。ロスアンゼルスオリンピックで知合ひとなつた所の伊太利のジャンバオリ氏の紹介状に依ると、現在の伊太利水泳聯盟の副會長バルバッチ氏(Dr. Giuffredo Barbacci)及リノ夫人(Mrs. Lino Barbacci)であつた。

水上聯盟ではその日松澤主事と安部外國關係委員とが會見したが、その來意を尋ねると嬉しい事には、オリンピックに於ける我選手諸君の活躍にあこがれて、遙々日本の水泳を見に来たと云ふのである。始めは普通一般の観光客の様に櫻見物の序に好きな水泳をも研究するのであらうと思つたら、その後段々會つたり話をしたりする内に、全く水泳の爲にのみ伊太利から直行して來て、再び伊太利へ直接歸るのだと云ふ事が分つて、重ねてその熱心に喜びもし、又驚きもした。それにしても花の四月の日本はまだ水泳には早すぎる事が遺憾な事であつた。

バルバッチ氏は醫學を専攻し、その方のドクターであるさうだが、現在はイル・イラストリエと云ふスポーツ紙の主筆をやつて居り、非常な水泳好きで、夫人も亦劣らぬ水泳狂であり、氏の話によると夫人の方がよく泳ぐと云ふ。話はずんだ折に口がほごれた所を綜合すると、御兩人のロマンスはどうもプールで始まつたらしいのである。何はともれ熱心で、東京に着いてか

らは花が咲かうが何にしやうが、奥さん一人を歌舞伎見せにやつておいて自分は帝國ホテルに籠つたきりで、水泳に關する質問事項の研究にかゝり、十日の夜松澤、安部の兩君が話をしにホテルに行つた折には全く一束になつてる書類をつきつけられて目を割いたとの事である。

十五、十六日は大阪甲子園に於ける室内水泳大會及京都府立一女のプール開きに出席する爲に松澤主事と共に西下し、自分で旅費を出して迄北村選手を大阪に呼びよせて同君の泳ぎを研究した、二十日夜は東京赤坂の幸樂に於て本聯盟主催の夫妻の歡迎會

で多くのオリンピック選手を始め、各學校及女子選手達と會見して大喜び、二十二日は明大、及早大プールの見學、二十三日は濱松から宮崎君まで招いて早大プールにて選手達のフォームの活動寫眞を撮り、此の間に於て東京 YMCA のプールで選手達のフォームを研究し、二十四日には終日かかつて神宮プール及神宮諸競技場見學をなし、大體來朝の目的を果し、滞在の終りにチョツピリと東京及日光見物をやつて二十七日横濱出帆の香取丸で充分なる満足で退京した。そして同船の神戸出帆の五月四日まで、僅かな日數を利用して關西と奈良見物をなした。昔のマルコ・ボロの様に日本にあこがれて、道を尋ねて行つた

珍しい、朗かな、巨大な訪問者であつた、

## 寫眞說明

丸ビルのNSR事務所に表れたバルバッチ氏夫妻後列左バルバッチ氏。右安部輝太郎君。前列左松澤一鶴君。右バルバッチ氏夫人。



ベルリン對コペンハーゲン  
對抗競技會は四月六・七の兩  
日ベルリン市のウエルレン  
バートで舉行され、二十點五

對二十一點五でベルリン市が優勝した。主なる記録  
次の如し。

男子200米平泳	ウイテンベルグ(獨)	2:49.9
男子100米平泳	ウイテンベルグ(獨)	1:16.9
女子100米平泳	ヤコブセン(丁)	1:26.6
	ズハルト(獨)	1:28.8
女子200米平泳	ヤコブセン(丁)	3:10.6
	ズハルト(獨)	3:13.3

○

甲子園のインドアミート、新設の甲子園プールで  
は4月15.6の兩日インドアミートを行つた。多くの  
新進舊進が参加した。O Bでは齋藤巍洋君藤田明君  
村松正一君等が奮闘した。

その外高知から來た北村久壽雄君、京都府立第一  
高女のプール開きに來た宮崎、清川の三選手が模範  
競泳をやつた。又伊太利から水泳研究に來朝したバ  
ルバツチ氏も松澤主事と共に見えた。主なる記録は

50自.	27.8	泉	(關大ク)
100自.	1:05.6	森	岡(弦泳會)
200自.	2:32.8	伊	藤(大高)
400自.	5:34.0	西	田(弦泳會)
100背.	1:15.4	柿	内(弦泳會)
200平.	2:56.4	高	島(高陽中)
200リレー	1:57.2	關	西 O.B.
	100自	1:03.2	宮崎康二
模範競泳	200自	2:24.4	北村久壽雄
	400米	5:08.8	北村久壽雄
	100背	1:15.0	清川正二

○

末弘會長は永く住なれた竹早町をあとに、北多摩郡  
砧村宇奈根上の臺 761.(電砧370)の新邸に轉居され  
た。

○

各大學水泳部新入生

「早稲田大學」、牧野正藏(見付中、長) 新聞(静岡  
中、短中) 永見(早實、中) 山田(廣島一中、平  
片岡(高知城東商、短中) 高橋(横濱一中、背) 堤  
(京城中、短) 森永(修猷館)

「明治大學」伊藤三郎(中泉農、平) 伊藤軍吉(中  
泉農、平) 池田德隆(加治木中、短) 桑野徹(濱田  
中、背)

「慶應大學」、小池禮三(沼津商、平) 渡邊卓一(修

## 消 息 欄

道中、背)、森(静岡中、短)  
渡井(富士中、平)

「日本大學」桑野(日大三中  
中) 中村(福岡中、短中) 村

上(豊津、短中) 池田(鹿兒島中、短) 吉本(旅順中、  
中)

「立教大學」本田惣一郎 安房中、中) 鶴岡榮(大  
多喜中、短)

「法政大學」富樫(鶴岡工、短) 市村(長野商、) 内田  
(吉備商、) 井上(城見中、) 柳澤(延岡中、) 高橋(逗子開  
成中)

「東京帝國大學」高階(浪速高) 藤原 佐賀) 坂本新  
(北大)

「東京商科大國」清川正二(名古屋高商、背)

○

各大學水泳部新主將

「早稲田大學」松本隆重 「明治大學」武村清 「慶應  
大學」河石達吾 「立教大學」中村秀吉 「法政大學」丹下  
良一

○

ライレー失戀の巻?

アメリカの飛込選手ライレー君はジョージア、コ  
ールマン嬢とは婚約の間柄とかで、昨年のオリンピ  
ック大會にも揃つて出場し、飛込の成績に於てさへ  
も二人揃つて飛込に一等高飛込に二等と全く仲のよ  
いことを示してゐるが、コールマン嬢は去る3月24  
日ミシガン市の商人ルーフ、ギルソン氏と結婚。

○

海の彼方には失戀沙汰のあるに引換へ我國水泳界  
は正に御目出度のオンパレード。昨年水泳チームの  
出發すると間もなく、西木龍三君が結婚され、オリ  
ンピックに優勝して歸る早々野田一雄君が立教水泳  
部に居た本田君の令妹と結婚すれば、留守師團の奥  
野良君が新家庭を持たれる。

○

聯盟事務所に表れた安部輝太郎君いきなりボールドに  
「ピツ子生れた」と書いて立ち去つた「ピツ子」  
とは何だつと尋ねると、オリンピック記念の女の子  
が生れたが、オリンとしやうかピツ子としやうかま  
だ名がきまらぬと喜ぶ。

○

高石勝男君もオリンピック凱旋後往年の女流選手  
として知られた永井峰子さんと結婚された。

次には“まあちゃん”の結婚である。何時も勇し  
い田畑顧問は三月末酒井菊枝嬢と結婚され東京會館  
で披露に及んだが、鳩山文相以下多數の名士、スポー

## 正 誤 表

第十六號第九頁以下の昭和七年度水上競技順位中下の誤りあるにつき訂正す。

頁

9 (3)200米自由形

6	2:19.0	遊 佐 正 憲	日大 神宮	6.11	オ最終豫選	を入れる	
6の豊田久吉は第七位へ下げる。							
7の志村義久は第八位へ下げる。							
9.	2:20.6	新 井 茂 雄	静浦 神宮	10.2	日本選手権	} を入れる	
10.	2:21.0	河 石 達 吾	慶大 神宮	6.19	早慶對抗		
8.	坂 上 安 太 郎						
9.	片 岡 寅 次 郎						} を除く
10.	富 樫 誠 助						
今年度平均 2:18.80 を 2:18.28 と改む。							

10 (5) 800米自由形.

2.	10:43.6	武 村 寅 雄	明大 神宮	9.25	全国學生	を入れる
2.	10:46.8	新 間 六 炳……………を				
3.	10:46.8	新 間 六 炳……………と改む				
3.	10:46.0	武 村 寅 雄……………を除く				
今年度平均 10:53.48. と改む 10:53.94						

10 (7)50米背泳

6.	32.6	大 澤 泰 雄……………を除き					
6.	33.6	勝 久 重 隆	早大 神宮	9.28	全国學生	を入れる	
8.	井 上 贊 二 郎 を 7 位 へ						
9.	河 野 敏 男 を 位 8 位 へ						} 上げ
10.	渡 邊 貞 一 を 9 位 へ						
10.	34.4	角野二郎	西部中學 神宮	82.8	東西中學	を入れる	
今年度平均 33.02 を 33.08 と改む。							

11 (10) 100米平泳

4.	1:21.4	筒井八郎治……………を	4.	1:21.2	筒井八男治に
今年度平均 1:20.48. 1:20.46 と改む					

(11) 200米平泳

2.	2:45.0	鶴 田 義 行……………を	2.	2:45.4	鶴 田 義 行に
今年度平均 2:55.15 を 2:55.19 に改む					

12 (13) 800米リレー

7	9:43.8	を 9:43.4 に
今年度平均 9:30.92 を 9:30.83 と改む		

ッ関係者出席。「新郎にして舊郎の田畑君は……」とか「甚だ勇しくて怒りほしいが、後は颱風一過……」……」とか「いびきをかくから新婦は驚かないやうに」とか数々のユーモアに富んだ、朗らかな祝辭を頂戴して、まあちやんにここに。

○

次は飛込の島崎保正君高石新夫人の令妹で飛込選手である惠美子さんと華燭の典をあけられた。又聯盟理事中に紅一點の女子部委員長片山榮子さんは此

程湯淺氏と結婚された。

○

石本巳四雄氏は5月11日帝國學士院賞を授與され、小林榮三、樋口一成氏は先頃醫學博士になられた。地震のことなら石本さんに、病氣になられたら新博士に御相談のこと。

日本泳のうまい栗村徳子嬢は永らく日本ダンスの御稽古中の所此程名取に昇格、花柳悦太郎と名乗り、「花は紅に柳は緑に……」と御あいさつがあつた。



# 會報

昭和八年五月

N S R

## 日本水上競技聯盟會報

### NSR日記

- 3月 6日 雑誌第16號出來 AAU より米國記録證  
到着  
7日 雑誌發送及編輯委員會 事務所  
10日 常務理事會 事務所  
13日 前年度水球競技委員會 事務所  
16日 本年度標準泳法委員會 事務所  
18日 三月定例理事會 事務所  
23日 前年度競泳競技委員會  
24日 體協理事會、松澤、西本出席  
29日 編輯委員會 事務所  
31日 標準泳法委員會 事務所  
4月 6日 飛込競技委員會  
10日 常務理事會  
12日 在京代議員會 東京YMCA  
15日 四月定例理事會  
17日 標準泳法委員會 事務所  
20日 バルバチ氏歡迎會 幸樂  
22日 標準泳法委員會 東京朝日新聞社  
25日 記録委員會 事務所  
26日 水球委員會 事務所

### プール公認の件 (昭和七年度發表その二)

#### 公認第十八號 寶塚新溫泉プール

所在地 兵庫縣川邊郡小濱村  
所有者 阪神急行電鐵株式會社  
公認申請者 同社寶塚新溫泉管理者 吉岡重三郎  
稱公距離 50米 幅20米。水深1.30米乃至1.80米  
出發臺の高さ 60糎。水質淡水

水路數 8。水路幅 2.40米。

昭和七年八月二十四日より昭和十二年八月二十三日  
に至る五年間甲種競泳池として公認せらる。

#### 公認第十九號 第一東京市立中學校プール

所在地 東京市麴町區富士見町二ノ八  
所有者 第一東京市立中學校  
公認申請者 同校長 四宮茂  
公稱距離 25米。幅 8米。水深1.25米乃至3.00米。  
出發臺の高さ 3.95糎。水質 水道水。

水路數 4。水路幅 2.0米。

昭和七年九月十七日より昭和十二年九月十六日に至  
る五ヶ年間甲種競泳池として公認せらる。

#### 公認第二十號 甲子園室內競泳池。

所在地 兵庫縣武庫郡鳴尾村甲子園野球場内  
所有者 阪神電氣鐵道株式會社  
公認申請者 同上  
公稱距離 25米。幅10米。水深1.20米乃至2.75米。  
出發臺の高さ 0.31米。水質 水道水

水路數 5。水路幅 2米

昭和七年九月二十六日より昭和十二年九月二十五日  
迄五ヶ年間甲種競泳池として公認せらる。

#### 公認第二十一號 甲子園濱競泳池。

所在地 兵庫縣武庫郡鳴尾村甲子園濱  
所有者 阪神電氣鐵道株式會社  
公認申請者 同上  
公稱距離 25米。幅15米。水深1.30米乃至3.45米。  
出發臺の高さ 0.38米。水質 水道水  
水路數 7。水路幅2.0米

昭和七年九月三十日より昭和十二年九月二十九日迄  
五ヶ年間甲種競泳池として公認せらる

公認第二十二號 京都府立京都第二高等女學校競泳池。

所在地 京都市中區西ノ原式部町

所有者 京都府立京都第二高等女學校

公認申請者 同校長 荻原忠作

公稱距離 25米。幅12米。水深1.10米乃至1.50米。

出發臺の高さ 0.30米。水質 水道水。

水路數 7。水路幅 2.0米。

昭和七年十二月九日より昭和十二年十二月八日迄五ヶ年間甲種競泳池として公認せらる。

外國飛込選手招聘7件

昭和六年の代議員會に於て、昭和七年の日本選手權大會を期して、バラニー、タリス選手を中心に招聘する案が可決されたが、實際に交渉した結果は何れも都合が悪く實現出來なかつた。所が米國のミス、エジプトのシマイカ選手が來朝の希望あり、オリンピックの結果が競泳に於て日本の大勝に歸したる上は、將來の指導の上からも、日本として發達の遅れて居る飛込選手に來て貰ふ事の有意義なる事を考へ、兩選手並に監督のサマリル三氏を招聘する相談をオリンピック村に於て決した。

日程及經費

- 9月22日 淺間丸にて横濱着直ちに練習開始。
- 9月30日 日本選手權大會に出場。
- 10月 6日 朝關西へ向け東京驛出發。
- 10月 7日 京都二商にてエキジビション。
- 10月 8日 神戸。
- 10月 9日 大阪茨木中學。
- 10月10日 奈良。
- 10月11日 名古屋。
- 10月12日 再び京都。
- 10月14日 上海へ向出帆。
- 11月 2日 神戸到着。
- 11月 3日 東京へ到着。
- 11月 8日 NSR送別會。
- 11月12日 東京發。
- 11月13日 マニラに向け出帆。

上記三氏の招聘費用概算は

會合費出迎費用その他	398.80圓
旅費(船賃)	5109.00
合計	5507.80

編輯後記

いよいよ1933年のシーズンが始まります。昨年のオリンピックに於ける活躍に比較すると本年は對外的交渉は少いが、第十一回オリンピックの第一年として益々力強い一歩を踏み出さなければならない。讀者諸君の要求に従ひ指導欄を設け、競泳、飛込、水球の各部に涉り有益なる記事を掲載することに致しました。尙女子競泳についても次號から記事ののせませす。

極東大會を來年にひかへての33年のシーズン始めに當り、臺灣軍は全比律賓を迎へて之を36對27で破り、美事前二回の雪辱をなしたが、次號には詳細なる記事と寫眞を皆様に御紹介出来ることと思ひます。

每號「日本競泳發達史」を御執筆して下さる市村斗鬼三氏から玉稿を頂戴しましたが、之は六月に割愛させて戴きます。益々佳境に入らんとする競泳史を御期待下さい。

本誌愛讀の諸君の投稿を歓迎致します。地方の水泳界の状況でも、水泳界の人々の消息でも質問でも研究發表でも、御自由に本誌を通じて御發表下さい。

本誌は特別におくれまして申譯もありません。三月末から編輯委員鶴岡氏が四國へオリンピックの映畫を持つて出掛けたし、あとを引受けた人々もやれバルバツチ氏の應接や米國からの選手招待と矢繼早に喜しくはあるが忙しい仕事に追はれて遂に月を越してしまひました。今後は出来るだけ正確に發行したいと思つてゐます。

日本水上競技聯盟機關雜誌 水泳 第十七號

定價 三十錢 一年六回隔月發行  
豫約申込者に限り販布す (一年前金豫約は送料不要)

廣告料 十圓乃至三十五圓

御申込次第詳細回答

昭和八年五月二十二日納本

昭和八年五月二十三日發行

編輯兼發行人 鶴岡英吉

(日本水上競技聯盟代表)

印刷者 君島潔

印刷所 共同印刷株式會社

東京市小石川區久堅町一〇八

發行並所 東京市麴町區丸ビル87  
日本水上競技聯盟編輯事務所  
振替貯金東京三九九一九番

# ニポリット

## 強力殺菌消毒劑

早稲田大學プール  
慶應大學プール  
明治神宮外苑プール  
東京市役所各プール  
川崎市役所プール  
大阪市役所プール  
東京高等師範學校プール  
其他各大學、中學校  
小學校プール等

ニポリット御用命先

外國品ニ超越スル純國產  
簡易、無害、傳染病豫病、強力殺菌消毒劑  
ニポリット(殺菌力石炭酸約二五〇倍)

### 特 徵

一、本劑ハ有効クロール七六・九五%以上ヲ含有シ強  
烈ナル殺菌力ヲ保有ス(東京衛生試驗所證明濟)

### 使 用 法

一、本劑ハ白色ノ粉末ナレバ使ヒ方ハ頗ル簡單ニシ  
テ單ニ水ニ溶セバヨイノデアリマス。

用 例	プールの水十萬分の一 (一日目)	百萬分の一 (二日目)	三百萬分の一 (三日目)
千石	三六〇瓦	一八〇瓦	九〇瓦

第十回オリンピック拳闘選手  
藥劑師 村上清信氏推奨

## 濱野商事株式會社藥品部

東京市麴町區丸の内三丁目八番地  
電話丸の内(23)九四六、三八六  
振替口座東京一六〇二番

